

庭園間交流連携促進計画（周遊部門）



みやぎ蔵王ハーモニー花回廊



令和3年12月

みやぎ蔵王ハーモニー花回廊推進協議会

取組の将来像（ビジョン）

ガーデンツーリズム構築による広域圏での地域活性化

宮城県南地域は、蔵王連峰、白石川、阿武隈川から太平洋に至る山と海の2つの自然豊かな環境の多彩な観光資源があり、年間700万人近い観光客が訪れる地域となっていますが、東日本大震災、台風19号災害等の大規模な災害を経験し、観光分野においても多大な影響を受けました。震災・災害・復興の最中において、地域に点在するフラワーガーデン（花修景）は地域の人々に癒しと安らぎを与え、復興の原動力となりました。こうした地域に点在する集客力の高い花修景を大きな軸として、県南地域の自治体2市9町、民間団体及び大学が連携し、地域の観光資源を紡ぐことで、個々の花修景の魅力と観光資源の相乗効果により、みやぎ蔵王山麓に広がる花修景の認知度の向上と、交流人口・関係人口の拡大を図り、広域圏での地域活性化を図ります。

1. 宮城県南地域の観光の現状

宮城県南地域（以下、県南地域）は、100万人都市仙台市の南部に位置し、山形県・福島県、そして太平洋に囲まれた白石市、角田市、蔵王町、七ヶ宿町、大河原町、村田町、柴田町、川崎町、丸森町、亘理町、山元町の2市9町で構成される地域です。

県南地域の西部に位置する蔵王連峰は、宮城県と山形県に跨る最大標高1,800mを超える山々からなる山岳地で、山頂には噴火跡のカルデラ湖である「御釜」は全国的にも知名度が高く、県南地域を象徴する観光資源となっております。

県南地域の象徴となっている蔵王山は国土交通省の観光資源データによれば、「蔵王山はその誘致力は全国的であり、観光重点地域の原動力として重要な役割を持つA級資源」と高く評価されています。



観光資源データ（平成22年度国土交通省）

ランク	観光資源の例	内容
特A級	富士山、出雲大社、法隆寺、十和田湖 等	わが国を代表する資源でかつ世界にも誇示しうるもの。わが国のイメージ構成の基調となりうるもの
A級	蔵王山、松島、瑞巖寺、清水寺、天橋立、中尊寺 等	特A級に準じ、その誘致力は全国的で観光重点地域の原動力として重要な役割をもつもの
B級	駒ヶ岳、仙台城跡、秋保大滝、志波彦神社、鹽竈神社、塩竈みなと祭、多賀城跡、五大堂、観瀾亭、金華山 等	地方スケールの誘致力をもち地方のイメージ構成の基調となりうるもの
C級	—	主として県民および周辺地域住民の観光利用に供するもの

資料：国土数値情報 観光資源データ 平成22年度 国土交通省
 (財)日本交通公社が事務局として設置した「観光資源評価委員会」が検討・選定し作成した「観光資源白書」(財)日本交通公社に掲載されている観光資源のうち評価ランクがB級以上のものをデータ化したもの。
 対象とする観光資源の種類
 自然資源 山岳、高原、原野、温泉、湖沼、渓谷、滝、川、海、島、湖、海、山、洞窟、動物、植物、自然現象
 人文資源 史跡、社寺、城跡・城郭、館園・公園、歴史景観、地域景観、年中行事、歴史的建築物、現代建築物、博物館・美術館

また、奥州街道、陸前浜街道、七ヶ宿街道、笹谷街道が通っていたことから、宿場町が多く存在し、古くから交通の要衝となっていました。そのため、国道4号や国道6号などの国道幹線が走り、また、東北新幹線、JR東北本線、JR常磐線、阿武隈急行線の鉄道網や、東北自動車道、山形自動車道、常磐道といった高速交通網も整備されています。さらに、国内主要都市や中国、韓国、台湾等の海外路線が就航している仙台空港にも隣接していることから、国内外からの交通の利便性は格段に恵まれた地域となっています。

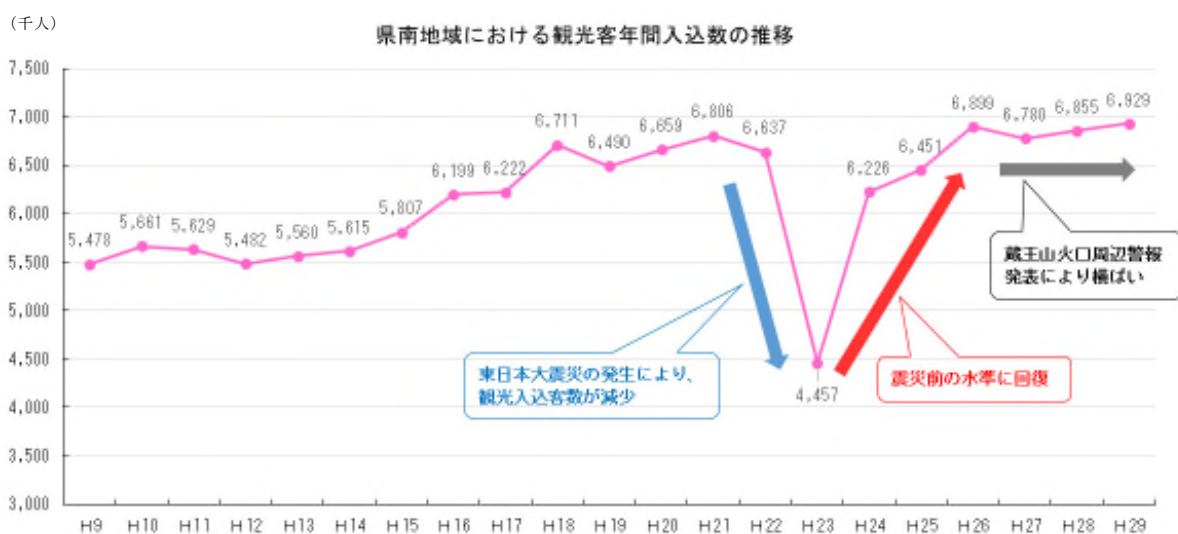
このように魅力的な観光資源と交通の利便性に恵まれている県南地域にもかかわらず、近年においては、観光客数が伸び悩んでいる状況となっております。

2. 東日本大震災や風評被害の影響

平成23年の東日本大震災と福島第一原子力発電所事故により甚大な被害を受けた東北地方においては、観光客数においても大きな影響を受けました。県南地域においても、震災前（H22）には、663.7万人あった観光客入込み数が震災直後（H23）においては、445.7万人までに減少しました。

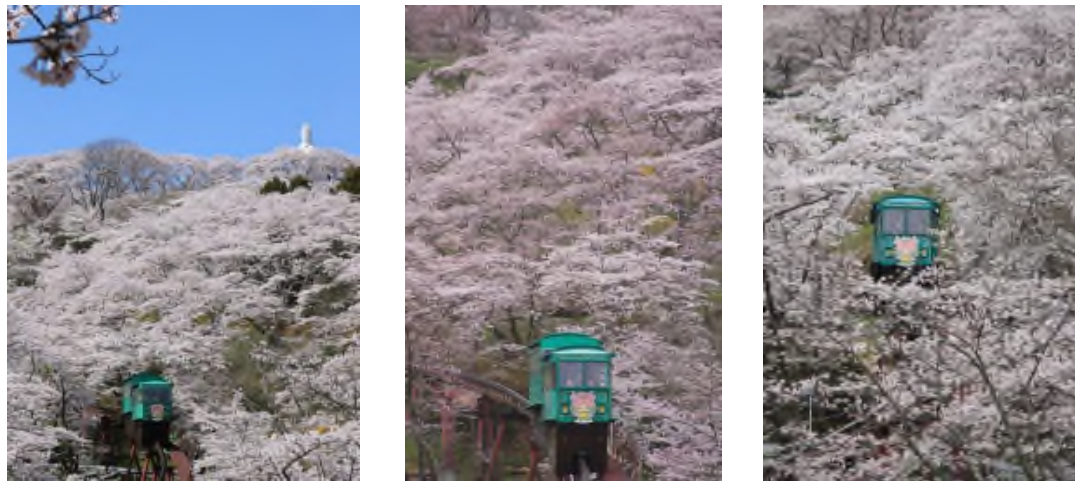
また、蔵王山においては、平成27年4月に火口周辺警報が発表されたことにより不安や風評が広がり、観光客が減少しました。

こうした状況の中、国が策定した「観光立国推進基本計画」（H24.3策定）に基づく国等の支援策を活用し観光資源の磨き上げや、プロモーション活動の強化等、様々な取り組みを行いました。また、宮城県が策定した「宮城県災害復興計画」（H23.10策定）や「第3期みやぎ観光戦略プラン」（H26.3策定）に基づき、東北が一体となった広域観光の推進によって、県全体の観光客入込数はようやく、震災前の水準まで回復することができました。



県南地域における観光客入込数の推移（観光統計概要・宮城県）

さらに、世界的に人気の高い旅行ガイドブック「Lonely Planet（ロンリープラネット）」が発表するお勧めの旅行先「Best in Travel 2020」において、日本の「東北」が2020年に訪れるべき世界の10地域の第3位に選出されました。この中で「東北」を、「豊かな自然、祭などの文化遺産、食の魅力、そして、おもてなしに溢れ、東京2020オリンピック・パラリンピックで訪日するアドベンチャー好きの旅行者にとって最適な新しい旅行地」と評しており、本県南地域の柴田町船岡城址公園は「桜が咲き誇る城山を下るスロープカー」として、写真付きで紹介されています。



「Lonely Planet's Best in Travel 2020」で紹介された柴田町船岡城址公園のスロープカー

しかし、県南地域だけを見ると、観光客数が増加している仙台圏に比べ、観光資源、交通の利便性に恵まれているにも関わらず、観光客数は伸び悩んだままになっているのが実情です。このような県南地域のなかにおいて、観光客数が震災前に比較して倍増しているのが柴田町です。

(単位：人)

市町	白石市	角田市	蔵王町	七ヶ宿町	大河原町	村田町	柴田町	川崎町	丸森町	巨理町	山元町
震災前 H22年	750,611	207,816	1,471,325	533,956	543,709	438,066	280,238	891,852	554,702	816,718	48,618
H29年	788,481	225,025	1,674,489	495,701	429,527	492,650	516,284	1,020,091	553,837	688,042	45,761
増減率	105%	108%	114%	93%	78%	112%	184%	114%	100%	75%	94%

震災前(H22)と近年における観光客入込数の比較(観光統計概要・宮城県)

3. 「花のまち柴田」をテーマとしたフラワーツーリズムの推進

柴田町の船岡城址公園と大河原町から連なる白石川堤は、宮城県で唯一「日本のさくら名所百選の地」に選ばれている桜の名所であり、また昭和45年にNHK大河ドラマ「樫ノ木は残った」の舞台になった船岡城址公園があります。しかし、春のお花見や秋の菊人形祭りの時期には県内の観光客で賑わいますが、開花期間が短いことや、観光客の絶対数も少ないことから、観光による経済波及効果は限定的なものとなっていました。

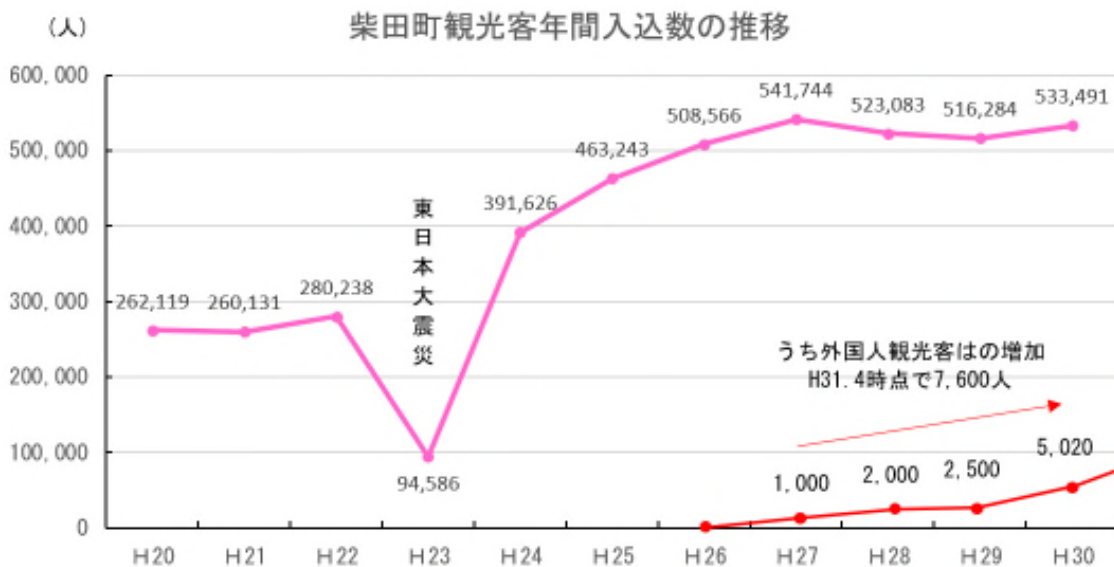
そうしたことから、平成23年3月の東日本大震災を契機に内陸部から創造的な復興を目指すため「花のまち柴田」をテーマに、美しく元気で賑わいのあるまちづくりに取り組んできた

ころです。

具体的には、柴田町のシンボルである先人たちから受け継いだ樹齢100年のソメイヨシノが咲き誇る桜まつりをメインに、梅、アジサイ、彼岸花による新たな景観づくりを行い、さらに、菊まつりやファンタジーイルミネーションと合わせて、通年型のフラワーツーリズムを推進してきました。さらに我が国の花文化を海外にアピールするために、国のインバウンド政策と相まってプロモーション活動展開や日本の伝統文化を体験できるコンテンツの充実を図ってきています。

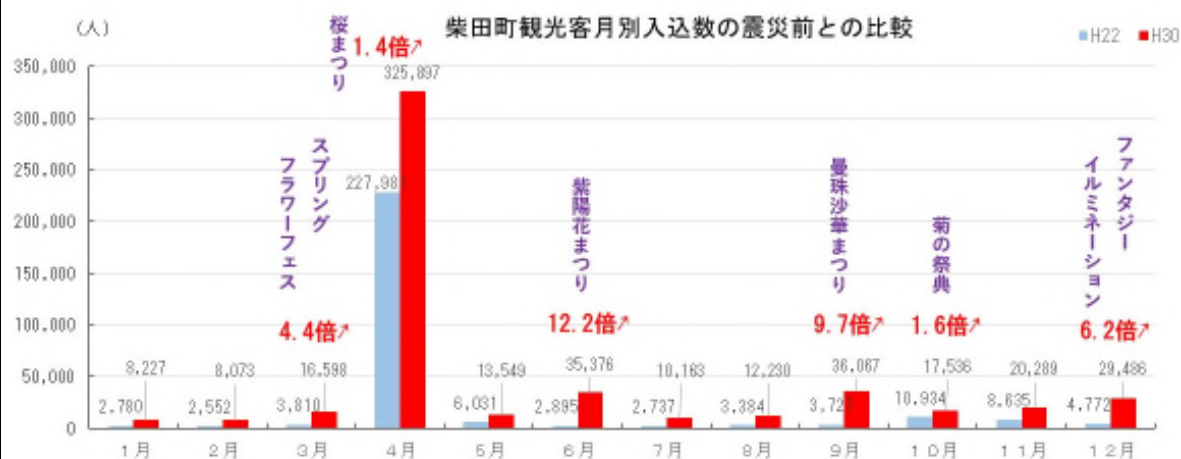


その結果、柴田町の観光客数は、取組前（震災前）の28万人から、約2倍となる54万人をこえるまでに数字を伸ばしており、県南地域の花修景を磨き上げることで国内外から人を呼び込む観光資源となることが確認できました。



また、東京オリンピック開催を見越した取り組みが全国的に進められ、県南地域においても、宮城インバウンドDMO推進協議会が主体となって、外国人向けのプロモーション事業の展開等により外国人旅行客が増加しました。柴田町においても、平成26年度はゼロだった外国人観光客数は、年々増加傾向にあり、平成31年4月時点で約7,600人にまで数字を伸ばしてきました。

こうした柴田町の取り組みから見てわかるように、自然の風景や季節の花見を楽しむ観光資源を磨き上げることで、観光客数の増加につながるということが立証されています。



※震災前イベントは、4月の桜まつり、10月の菊の祭典のみで、震災後にスプリングフラワーフェスティバル、紫陽花まつり、曼珠沙華まつり等を開催しており、新たなイベント開催シーズンは、4～12倍の増加となっています。なお、外国人観光客数については、桜まつりでのみ計測していることから桜まつり時の数値となります。

4. 県南地域が目指す将来像

(1) 県南地域に点在するフラワーガーデンと観光資源

県南地域の代表的な観光資源・施設としては、刈田岳山頂・一目千本桜・船岡城址公園の自然景観、国営みちのく杜の湖畔公園、スポーツランドSUGO等のレクリエーション施設、遠刈田温泉・青根温泉・鎌先温泉・わたり温泉鳥の海・宿泊施設、白石城・齋理屋敷等の歴史施設等があげられ、最近では、道の駅が相次いで開設される等、多様な観光資源が存在しており、観る、レクリエーション、リゾートの多様な観光が可能となっており、周遊型観光を展開するうえで、非常にポテンシャルが高い地域となっています。



蔵王連峰を眺める 遠刈田温泉



伊達藩ゆかりの湯 青根温泉



太平洋を一望 わたり温泉

この地域には、水芭蕉、桜、水仙、菜の花、紫陽花、ひまわり、彼岸花といった多種にわたる花修景が点在し、大規模な花修景（フラワーガーデン）を形成していることに加え、地ビールやハム、ソーセージ、チーズ、イチゴ、はらこめしなどの食グルメ、温泉、道の駅といった観光資源も点在しています。



牧場直営のヨーグルト(蔵王町)



蔵王チーズ（蔵王バラ園）



仙南クラフトビール(角田市)



はらこめし(亶理町・山元町)



ほっきめし(亶理町・山元町)



白石温麺（白石市）

さらに、東北地方唯一の国営公園である「みちのく杜の湖畔公園」では、東北の暮らしの知恵や文化を体験できる参加型イベントを通年開催しているほか、各地域で花摘み講習会、フラワーアレンジ体験、その場で食べられるいちご狩り、チーズやバター、ソーセージ、アイスクリームづくり体験など、みやぎ蔵王の恵みを体験できるイベント等が多数開催されています。



ブタナッツアレンジメント体験



自然素材組立体験



オープンガーデンと花摘体験



いちご狩り



アイスクリームづくり体験



ソーセージづくり体験

しかし、これら多くの観光資源は県南地域の各地に分散しており、一自治体での誘客効果は限定的であることから、広域的な連携を図ることで、その魅力を、アピールしていくことが重要となってきました。



(2) 県南地域における交通環境

一方で、県南地域は、東北新幹線及び高速自動車道路（東北自動車道、常磐自動車道、山形自動車道）を有しており、民営化及びLCCの拠点化した仙台空港からも近くアクセス性に非常に恵まれています。さらに、「広域観光周遊ルート日本奥の院東北探訪ルート」の認定等により、県南地域を取り巻く観光環境が大幅に改善してきています。



東京、大阪、北海道などの国内主要都市からは仙台空港及び空港と直結する仙台空港アクセス線を利用することで、約2時間の所要時間で当地域へ来ることが可能となっております。

また、近隣の仙台市や、山形県・福島県からは、東北新幹線、JR東北本線の鉄道利用で約35分程度、車の利用でも約30分程度で当地域へアクセスすることが可能となっております。



さらに、当地域は、蔵王山頂周辺から太平洋沿岸部まで約 50 km の圏内に、庭園、天然温泉、地元の食グルメ、レクリエーション・リゾート施設など観光資源が点在しており、道路網の整備により、これら各施設間は 30～60 分程度での車移動が可能となっています。



(3) 広域連携によるマイクロツーリズムの実現、

そして周遊・滞在型のツーリズムへ

県南地域に点在したフラワーガーデンと観光資源が、多種多様に連携する重要性は高まっていることから、県南地域における官民の庭園管理者及び観光関係者が「みやぎ蔵王ハーモニー花回廊推進協議会」を通じて、ガーデンツーリズムに取り組みます。

その具体的な戦略として、「国営みちのく杜の湖畔公園」と「船岡城址公園」を起点に、みやぎ蔵王山麓に点在する桜並木、花畑、コミュニティガーデン、民間庭園や公園等、春から秋にかけて様々な姿を見せるフラワーガーデンを季節ごとの身近な範囲でのコース設定を行い、コロナ禍に対応した宮城県南地域型のマイクロツーリズムを推進していきます。さらに、その発展形として、多様な広域周遊ルートの設定を図り、コンパクトなエリアでのオープンガーデンコースの設定により、雄大なロケーションの花畑から家庭の庭先の花畑までをリンケージした中で、ハーモニー豊かなモデル花回廊を設定し、広域的な観光基盤の強化を図ります。

また、園芸講習会や花摘み、寄せ植等の体験イベントの開催や立ち寄り先として温泉や高原リゾート施設との連携を図ることで、県南地域の魅力が詰まったガーデンツーリズムを推進します。

このように、県南地域という広域で連携し、ガーデンツーリズムの取り組みを推進することで、東日本大震災、台風 19 号災害、コロナ禍等の中にあっても人々に癒しと安らぎ、そして地域の絆を育むきっかけとなった花々と、蔵王の恵みが詰まった観光資源を結びつけ、地域ごとのフラワーガーデンを軸とした、身近に体験できるガーデンツーリズムを構築し、地域内にある花園・庭園等の認知度や交流人口・関係人口の増加を図り、広域圏での地域の活性化を目指します。さらに、官民両者でのガーデンツーリズムへの取り組みの熟度を上げていながら周遊・滞在型のガーデンツーリズムを目指します。

取組全体の範囲がわかる位置図（地図等）



宮城県南エリア区域図



構成庭園の位置図（地図等）



構成庭園所在地一覧

番号	庭園名	所在地	備考
1	みちのく杜の湖畔公園	宮城県柴田郡川崎町大字小野字二本松 53-9	
2	船岡城址公園	宮城県柴田郡柴田町大字船岡字館山 18-8	
3	菜の花畑	宮城県角田市藤田字中谷地地内	
4	みやぎ蔵王えぼしリゾート	宮城県刈田郡蔵王町遠刈田温泉字倉石岳国有地林内	
5	蔵王酪農センターバラ園	宮城県刈田郡蔵王町遠刈田温泉字七日原 251-4	
6	ざおうハーブ	宮城県刈田郡蔵王町大字矢附字林前 88-1	
7	白石城	宮城県白石市益岡町 1-16	
8	スパッシュランドパーク	宮城県白石市小原字西川久保地内	
9	しばたオープンガーデン	宮城県柴田郡柴田町内	

みやぎ蔵王山麓の花修景と

蔵王の恵みが奏でるコンパクトなガーデンツーリズム

当地域は、蔵王山頂から太平洋まで約 50 km のコンパクトな圏域でありながら、山間部の寒冷な気候と沿岸部の温暖な気候が交り合い、蔵王連峰を背景とした様々な季節の花々が咲き乱れる地域となっています。さらに山頂から沿岸部まで車で約 2 時間という圏域に、花修景、天然温泉、道の駅、地域食グルメ、レクリエーション施設など数多くの観光資源が点在しており、一日で、山から海までの大自然を一度に巡るのも可能な地域です。さらに、蔵王山麓での天然温泉や、太平洋を眺めながらの天然温泉での宿泊施設も充実しており、県南地域の花々を巡り、天然温泉で日常の疲れを癒しながら、地元グルメを堪能する周遊・滞在型も可能となっています。

みやぎ蔵王ハーモニー花回廊では、蔵王山麓に広がる花修景が軸となって、蔵王の恵みである温泉、食、文化などが花修景と一体となって、癒しと安らぎ、そして、みやぎ蔵王の魅力がぎゅっと詰まったコンパクトな旅を提供することを目指します。

1. 宮城県南地域の風土特性

(1) 地 形

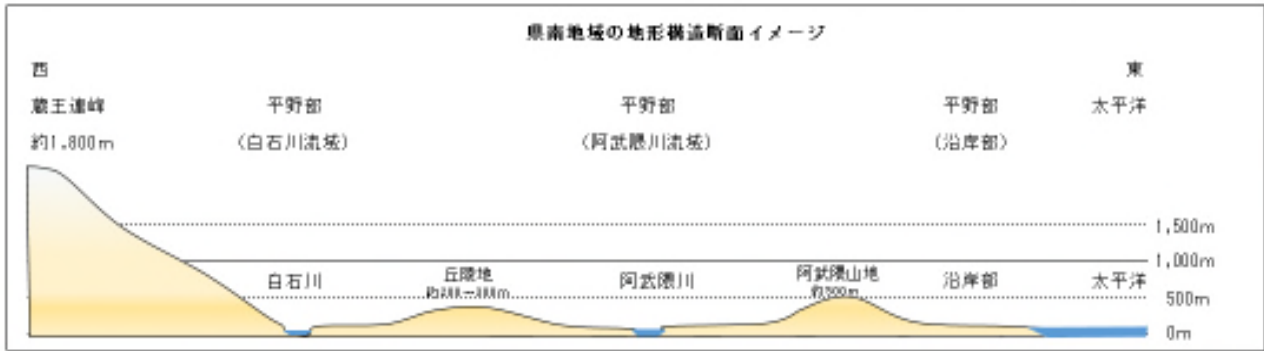
県南地域の象徴である蔵王連峰は、東北地方の中央を南北に連なる奥羽山脈の中にあって、山形県の県界に位置し、主峰の標高 1,840m の熊野岳をはじめ、標高 1,800m を超える山岳が連なる連峰となっています。蔵王連峰は、奥羽山脈に連なる活火山であり、山頂には噴火跡のカルデラ湖である「御釜」や滝などの特徴的な地形、山すそ付近には遠刈田温泉など多数の温泉地が点在しています。一方、東南には阿武隈山地が広がり、西の蔵王連峰と合せて盆地地形を形成しています。阿武隈山地は古い地層が隆起してできた山脈ですが、長い時を経て現在のなだらかな山地へと変容してきました。

また、斗蔵山（角田市）や四保山（柴田町）などのなだらかな丘陵地と阿武隈川や白石川によって形づくられた溪谷、湖、田園、里山、高原等、美しい自然景観が点在しています。

県南地域は県界に位置する蔵王連峰から太平洋まで約 50 km と短い範囲にあって、本州のくびれのような地形を形成しています。

県南地域はこうした、1,800m を超える標高の高い蔵王連峰と対照的に標高が低くなだらかな山々が連なった丘陵地であるため、どこからでも蔵王連峰が望めることができる県南地域特有の景観を生み出しています。





(2) 河川とまち並み

県南地域は、西部に位置する蔵王連峰から東南方向の太平洋に向かって、丘陵地や四保山（柴田町：船岡城址公園）や斗蔵山（角田市）と古い地層が隆起してできた阿武隈山地に囲まれた盆地の中に市街地が形成されています。また、福島県に源流を持つ阿武隈川と、蔵王連峰（七ヶ宿町内）に源流をもつ阿武隈川の支流である白石川、蔵王連峰（川崎町内）に源流をもつ名取川の3つの大きな河川が流れています。白石川上流（七ヶ宿町内）には、「ダム湖百選」に選ばれた七ヶ宿湖、名取川上流には釜房湖が建設され、県南地域及び仙台都市圏における重要な水源地としての役割を担っています。



蔵王山頂にある「御釜」



白石川から眺める

蔵王連峰



山麓から眺める蔵王連峰



これら河川は平野部に広がる水田用の農業用水として、また、城下町や市街地において掘割や水路を通じて、県南地域の人々の生活に必要な生活用水として利用されています。また、県内で唯一「日本のさくら名所百選の地」に選ばれた桜並木は、大河原町から柴田町にかけての白石川の両岸に植樹されたものであり、阿武隈川沿線や太平洋沿岸部には、菜の花やひまわりが植栽された花畑が広がっています。

このように、蔵王連峰から流れ出る川の流れや水辺には、先人達の日々の営みの中で、育まれた花
修景が蔵王連峰を借景として形成されています。



釜房ダム



白石川と葦神堰



阿武隈川菜の花畑

〔3〕 気候と生業・経済活動

県南地域では、蔵王連峰による標高差から、場所によって大きく気候が異なります。西側の山間部では冬から春にかけて積雪が残り、この積雪による気象上の特性によって、西から東へ蔵王連峰からの吹き降ろしの風「蔵王おろし」が吹きます。一方東側の内陸部及び沿岸部では、海洋性の影響を受け、比較的温暖な地域となっています。このように県南地域というコンパクトな地域であっても気温、降水量などかなりの差がみられます。

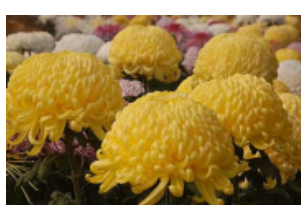
このような気候条件のもと、蔵王連峰の標高 500～800mほどの高原では牧草地や高地で栽培するそばなどの穀物、標高 200～400mの山麓・丘陵部ではリンゴや桃などの果樹、標高 200m以下の沖積地では菊やトルコギキョウなどの花卉、カーネーションやポットマム等の鉢花、沿岸部の平地部ではイチゴなどの果実の栽培が盛んに行われています。



いちごハウス



果樹園



菊の栽培



カーネーション栽培

こうした県南地域の気候風土を生かした、果樹、花卉、鉢花、果実などの生産量は、県内でも上位を占めており、県南地域の気候風土が人々の生活の営みの手段の一つとして花文化を育んできました。

そして現代では、果樹や花卉類の生産といった産業として育んできた文化が、個人の庭先をガーデニングし一般公開するオープンガーデンの取り組み、河川敷地に菜の花やひまわりを一面に彩る花畑づくり、公園内に一年を通じて鑑賞できる花園の整備などのフラワーガーデンをつくる文化となって、県南地域では盛んに行われています。



（４）広域圏での景観を保全形成するための広域景観計画の策定

県南地域は、蔵王連峰や阿武隈山地等の山岳及び阿武隈川や白石川等の河川に象徴される雄大な自然に加え、変化に富んだ地形を活かした花園や果樹園、田園、牧場、温泉地などの多様な人々の営み、街道や宿場町、川湊の歴史文化など、自然と人と歴史が一体となって培われた景観を有しています。県南地域の至るところから眺望できる蔵王連峰に象徴されるように、これらの豊かな景観が、ひとつの市や町を越えて広がっていることで“県南地域らしさ”を醸し出し、地域に潤いのある快適な生活環境を与えています。

こうした県南らしい豊かな景観を保全・形成し、将来に継承していくため、宮城県と市町が連携して、「仙南地域広域景観マスタープラン」と「仙南広域景観計画」を策定しました。策定後は市町が景観行政団体へと移行することで、その届出受理事務を行い、宮城県は広域調整を図ることとした役割分担を明確にしなが、県、市、町が連携して、県南地域らしい豊かな景観を保全・形成し将来に継承していくための取組が令和3年7月から始まっています。



▲蔵王連峰の山容（角田市）



▲春の田園風景（蔵王町）



▲紅花で栄えた蔵の街並み（村田町）



▲白石川沿いの桜並木（泉田町）

このように、県南地域では蔵王連峰を中心とする自然景観を、古くから地域の人々の営みとともに大切に守ってきました。その美しい景観は地域に住み人々だけではなく、訪れる者も魅了するものとなっています。そのため、美しい自然景観を地域の共有の財産として、保全・継承しながら、官民が協力しあって、景観の魅力を効果的に発信するとともに、景観の活用のための仕掛けづくりをするなど地域が一体となった景観まちづくりに取り組むことで、交流人口の増加につなげていきます。

2. 蔵王山麓に点在するフラワーガーデンとガーデニング文化

これまでも各自治体においては、雄大な蔵王連峰を背景とした、寒冷的な「蔵王おろし」と海洋性の温暖な気候が交り合う気候風土に咲き乱れる花々、平野部から高原までの標高差によって、四季折々に開花時期が異なる花畑で、花祭りを開催し人気を集めてきました。

蔵王山麓に点在する花修景の中で、公共団体が管理運営する庭園としては、東北最大の花のテーマパークとして名高い国営みちのく杜の湖畔公園（川崎町）、シバザクラを中心として四季の花々を楽しめるスパッシュランドパーク（白石市）、阿武隈川の右岸に広がる菜の花畑（角田市）、県内屈指の桜の名所でもあり、四季折々の花景色が楽しめる船岡城址公園（柴田町）、被災した沿岸部の整復化した農地に広がるひまわり祭り（山元町）等があります。

各庭園からの蔵王連峰の眺望



みちのく杜の湖畔公園



船岡城址公園



菜の花畑

また、民間が管理運営する庭園としては、冬季はスキー場のゲレンデとなり春には、斜面一面がすいせん畑となるみやぎ蔵王えぼしリゾート（蔵王町：宮城蔵王観光(株)）、400種類のバラが楽しめるバラ園（蔵王町：一般財団法人蔵王酪農センター）、宮城観光百選にも選ばれ四季折々の和風庭園を觀賞できる龍島院（村田町：龍島院）、阿武隈川右岸にクリームソクローバーやひまわりが広がるおおくま花畑（亘理町：逢隈地区まちづくり協議会）等があります。



みやぎ蔵王えぼしリゾート



蔵王酪農センター バラ園

さらに、白石市と柴田町では、ガーデニング愛好者が、個人の所有地を一般公開するオープンガーデンを実施しており、白石市では13軒、柴田町では14軒の個人宅と有志会員による庭園1か所を公開するなど、ガーデニング文化の広がりを見せています。

白石市では、地域を元気にしたいとの熱い思いから市民達が学び・話し合いを重ね、そのアイデアの一つとして、花と緑でワクワクするまちづくり「城花町しろいし事業」に取り組むこととなりました。柴田町では、平成23年度から、町の重点プロジェクトとして、まちなかがたくさんのお花であふれ、住民や町を訪れる人が心安らぎ、花々が彩る新風景「花のまち柴田」の創造をめざして、船岡城址公園や白石川堤を様々な花々で飾る公共事業と連携して、オープンガーデンを推進する取り組みが始まりました。5軒から始まったオープンガーデンは、現在では14軒まで増加し、官民連携による「花のまち柴田」への取り組みが広がっています。



て催



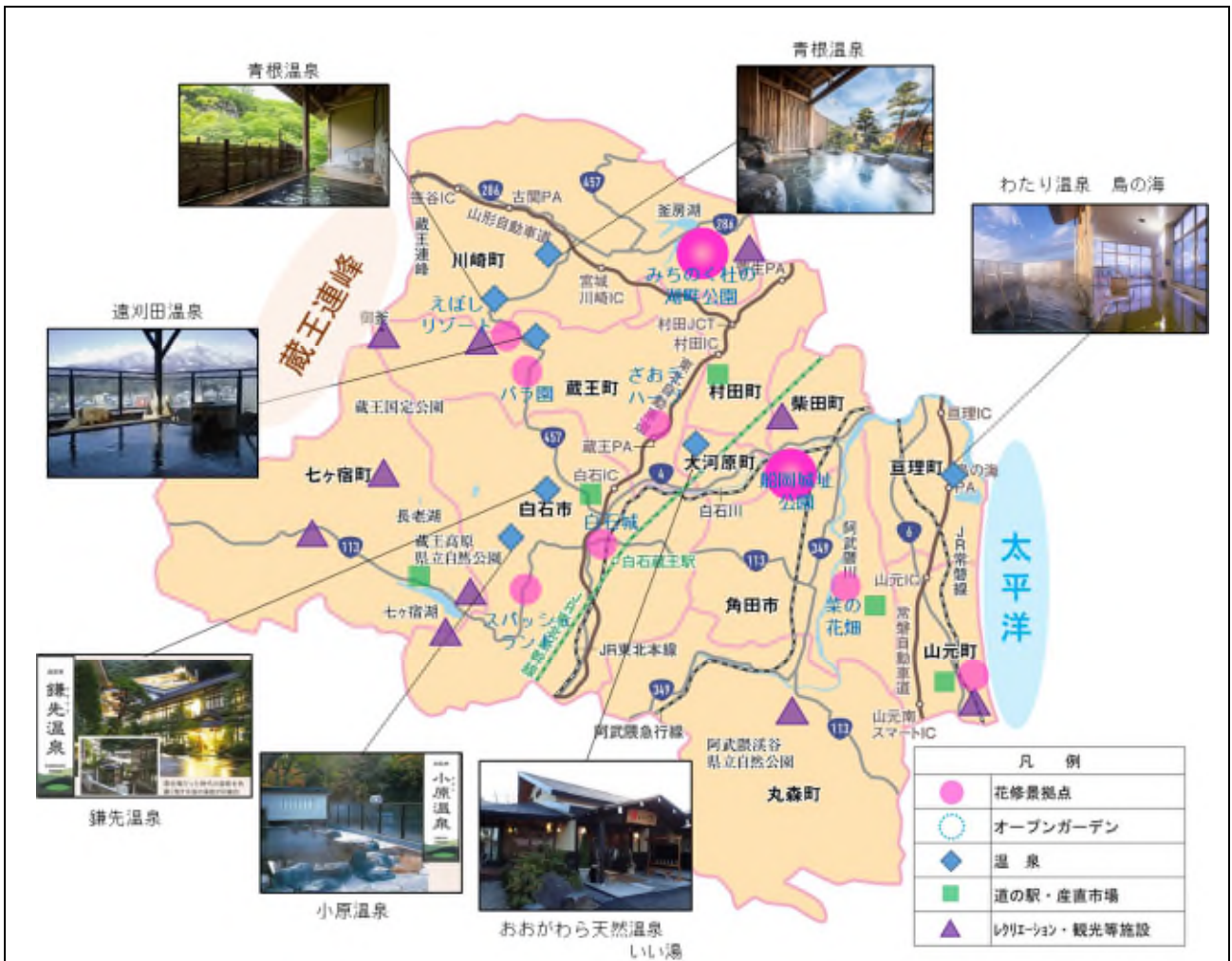
このように、県南地域に点在する蔵王連峰を背景とする花修景は、県南地域の風土から育まれてきた先人たちの想いを引き継ぎ、多くの人々の営みによって形作られ発展してきました。現在では、これら花修景を各自治体の観光資源とした地域活性化のイベント等が盛んに開催され、さらなる活躍が期待されています。

3. みやぎ蔵王山麓に広がる地域の恵みを活用した観光資源

(1) 山麓から太平洋沿岸部まで点在する天然温泉

みやぎ蔵王山麓には、40 軒を超える宿泊施設がある温泉の宝庫となっています。構成庭園である蔵王酪農センター・バラ園、えぼしリゾート近くにある「遠刈田温泉」は開湯から 400 余年の歴史を誇り、標高 330m の高原に湧く湯は湯冷めしにくいのが特徴で、14 軒の温泉宿と 2 つの共同浴場を中心に風情ある街並みが広がっています。このほか、遠刈田温泉から山麓を通過して、みちのく湖畔公園へ向かう途中にある藩政時代に仙台藩主の御殿湯として栄えた歴史ある「青根温泉」と蔵王の山々に囲まれた秘湯の一軒宿「峩々温泉」があります。また、白石市内には 600 年以上の歴史を誇り、奥州の薬湯として長く親しまれてきた「鎌先温泉」、渓谷の自然美を楽しめる「小原温泉」、珍しい泉質の「白石湯沢温泉」などがあり、みやぎ蔵王の恵みを受けた名湯が多数点在しています。

山麓だけでなく、県南地域の中心部に位置する大河原町には、源泉かけ流しの温泉を贅沢に楽しめる日帰り温泉「おおがわら天然温泉 いい湯」や、沿岸部の亘理町にある太平洋を一望できる絶景を楽しめる「わたり温泉 鳥の海」などもあり、蔵王山麓から太平洋沿岸部まで天然温泉が点在しております。



(2) みやぎ蔵王の恵が詰まった食グルメ

県南地域には、蔵王山麓から太平洋まで広がるコンパクトなエリアに、食文化についても山の幸から、海の幸が数多く点在します。酪農センター・バラ園内には、蔵王山麓で育ったフレッシュな乳牛から熟練のチーズ職人が丹精込めて作り上げるなめらかな「蔵王チーズ」が有名で、このチーズを使ったピザ、アイスクリーム、パスタなどが楽しめます。白石城・スパッシュランドーパークなどがある白石市には、油を一切使わずに、小麦粉と塩水のみで作られる約400年前から続く郷土食「白石温麺（うーめん）」があります。太平洋に面する亘理町、山元町では、水揚げされた新鮮な魚介類を使った、宮城県を代表する郷土料理「はらこめし」と「ほっきめし」があります。

また、米の産地としても有名な宮城産の米を中心に美味しい酒米を使用し、蔵王山麓の水を使って作られる日本酒も人気を集めています。宮城を代表する酒蔵である「新澤醸造店」は東日本大震災でみちのく湖畔公園のある川崎町へ移転し、仕込み水には蔵王山麓の地下天然水を使用している「伯楽星（はくらくせい）」が有名です。東北道の結節点である村田インターのある村田町には、江戸時代から続く大沼酒造があり、地元産のみやぎ米のササニシキを使用した「乾坤一（けんこんいち）」があります。

このほか、廃校となった小学校の体育館を改修したワイナリ Fattoria AL FIORE のワインや、沿岸部にある山元町で生産されたいちごを100%使用した、いちごのワインは、鮮やかな彩りや華やかな香り、甘い味わいをお楽しみいただけます。



蔵王チーズ



蔵王チーズ料理



はらこめし



伯楽星



乾坤一



いちごワイン

(3) 東北とみやぎ蔵王の文化を体験

東北みちのく湖畔公園をはじめほかの構成庭園でも、東北・みやぎ蔵王の文化を体験できる場所、イベントが多数存在しています。

東北みちのく湖畔公園では、年間を通じて季節を感じ自然と親しみ、家族が楽しめるイベントを開催しております。公園内には、東北6県の特徴ある古民家が集合して建造され、それぞれの施設では、みちのくの暮らしの文化を伝える映像や模型、展示物が多数設置されており、語り手による民話や昔話を囲炉裏を囲みながら聞くことができます。このほか、自然素材を使ったクラフト体験や、自然の中を歩くトレッキングツアーなど参加者のニーズに合わせた多種多様なイベントが開催されています。

船岡城址公園から車で15分程度のところにある、農家の納屋をリノベーションした「うらにわあとりえ」では、週末に大人も子供も楽しめるモノづくりのワークショップを開催し、予約なしで参加することができます。

このほか、オープンガーデンをしているガーデナーが講師となって行う寄せ植えづくり講習会や、ハンギングフラワーづくり講習会など、みやぎ蔵王の自然の中で、モノづくりを体験できるイベントが数多く開催されています。



クラフト体験



フラワーアレンジメント



ワークショップ

4. みやぎ蔵王山麓に広がるハーモニー豊かな花回廊へ

県南地域は、高速交通網などのアクセス性にも恵まれ、自然景観・温泉・歴史・文化の豊富で多様な観光資源が存在しています。しかし、仙台・松島などの仙台圏、鳴子温泉などの大崎圏など県内の観光地に比べるとまだまだ知名度は十分であるとは言えません。こうした状況から県南地域における観光資源をより有効に活用するために、平成16年より「みやぎ蔵王三十六景」を選定する取り組みを開始し、平成19年には、みやぎ蔵王のブランド化を推進するための「みやぎ蔵王三十六景ブランド創造会議」を設立、平成29年には、「宮城インバウンドDMO推進協議会」を設立し、「一般社団法人宮城インバウンドDMO」と連携を図る取り組みが始まってきており、みやぎ蔵王をテーマとした広域圏での観光振興の取り組みが活発化しております。

そして、この点在する観光資源を一つの軸として結び付けられるものは、県南地域で唯一の共通資源である蔵王連峰の景観と、山麓に広がるフラワーガーデンしかないことから、フラワーガーデンをテーマとして取り組むことは、広域圏での地域活性化を図る最良の施策であるといえます。

約50kmというコンパクトな圏域の中で、寒冷な「蔵王おろし」と海洋性の温暖な気候が交り合う気候風土に咲き乱れる花々、平野部から高原までの標高差によって、四季折々に開花時期が異なる花畑といったフラワーガーデンを結び色彩豊かな花回廊の構築を目指します。さらに、地域内に点在する天然温泉、道の駅、郷土料理、レクリエーション施設を取り入れることにより、より魅力的な旅となるよう目指してまいります。

みやぎ蔵王ハーモニー花回廊では、みやぎ蔵王山麓に点在する花修景を軸として、蔵王の恵みである温泉、食、文化などが花修景と一体となって、癒しと安らぎ、そして、みやぎ蔵王の魅力がぎゅっと詰まったコンパクトな旅を提供することを目指します。

みやぎ蔵王山麓から沿岸部まで広がる花々と魅力的な資源





みやぎ蔵王山麓の花修景と

蔵王の恵みが奏でるガーデンリズム




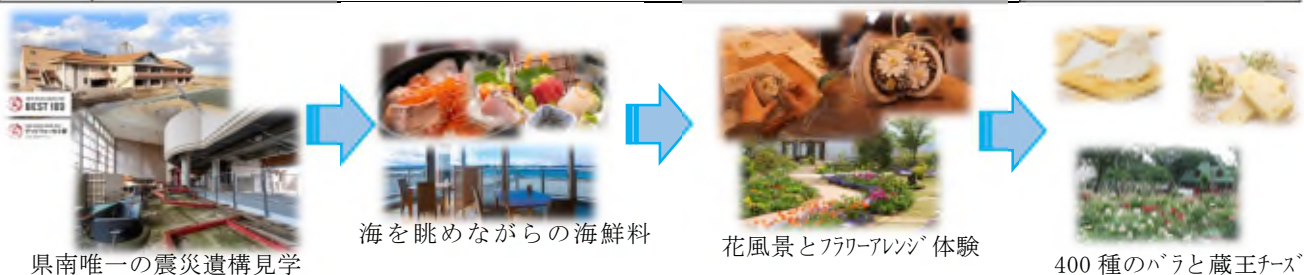
凡 例	
●	花修景拠点
 	オープンガーデン
◆	温 泉
■	道の駅・産直市場
▲	レジャー・観光等施設
→	連 携 軸


周遊プランイメージ

約 50Km というコンパクトな圏域であるため、日帰りで沿岸部から蔵王山麓までの周遊が可能。

さらに、温泉施設と組み合わせることで、さらにゆったりとした滞在型の周遊プランとしての提供が可能となります。

旅行プランイメージ (出発点は仙台市中心部、近県など1時間圏内からの出発として設定)		想定 移動手段
コース①	出発(9:00) == 山元町震災遺構中浜小学校(10:00~11:00) == わたり温泉鳥の海(昼食/11:30~12:30) == 船岡城址公園(見学/フラワーアレンジ体験/13:00~14:00) == 蔵王酪農センター・バラ園(見学・チーズ試食/14:30~15:30) == 道の駅村田(地場産品買物/16:00~16:30) == 東北自動車道村田インターから帰路(16:30~)	 バス・自動車



旅行プランイメージ (出発点は仙台市中心部、近県など1時間圏内からの出発として設定)		想定 移動手段
コース②	出発(9:00) == みちのく杜の湖畔公園(見学/10:00~11:30) == Farmers table mano(昼食/11:30~12:30) == ざおうハーブ(ハーブ摘み体験/13:00~14:00) == 白石城(見学/14:30~15:30) == おもしろいし市場(買物/16:00~16:30) == 東北自動車道白石インターから帰路(16:45~)	 バス・自動車



蔵王山麓に広がる天然温泉の宿泊施設と組み合わせることで、滞在型の周遊観光に!



蔵王連峰を眺める 遠刈田温泉



伊達藩ゆかりの湯 青根温泉



太平洋を一望 わたり温泉

「みやぎ蔵王ハーモニー花回廊」花の見どころマップ

	山間部		内陸部		沿岸部	その他 地域資源
	みちのく杜の 湖畔公園	各庭園	船岡城址公園	各庭園	各庭園	
3月	 カリスズメバチ		 ウメ	 カサネ(蔵王)		 ぼんぼめ。(百理・山元)
4月	 ニューリップ	 すいせん(蔵王)	 さくら祭り	 芝桜(蔵王)		 いちご狩(百理・山元)
5月	 オノノ	 花ミズバネ(蔵王)	 オープンガーデン	 菜の花畑(舟田)	 カミナリバネ(百理)	 ラクロネット(蔵王)
6月	 シラーレー蔵王	 高山植物(蔵王)	 紫陽花祭り	 紫陽花(白石)		 蔵王チーズ(蔵王)
7月	 アソケ	 ハラ園(蔵王)	 紫陽花祭り			 ヨーグルト(蔵王)
8月	 ヒマワリ		 コミュニティガーデン		 ひまわり畑(山元)	
9月	 カニクサ・センニチソウ畑	 そば畑(七ヶ宿)	 そば畑(蔵王)		 ひまわり畑(百理)	 ぼんぼめ。(百理・山元)
10月	 ツバキ	 コウソク(蔵王)	 物花屋	 蔵王峠(舟田)		 梨(蔵王)
11月	 紅葉	 長沢湖(七ヶ宿)	 菊花屋	 白土蔵紅葉(白石)		 湯掛(白石)

構成庭園一覧表

ふりがな 構成庭園 の名称	みちのくもりのこはんこうえん みちのく杜の湖畔公園	構成庭園の 所在地	宮城県柴田郡 川崎町大字小野字二本松 53-9
<p>1</p> <p>構成庭園 の概要</p>	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;">             </div> <p>【開園面積】 647.4ha 【料金等】 大人(15歳以上 450円、子ども(中学生以下)無料、シルバー(65歳以上)210円 【公開時期】 毎週火曜定休 営業時間 ①3月1日～6月30日・9月1日～10月31日⇒ 9:30～17:00 ②7月1日～8月31日 ⇒ 9:30～18:00 ③11月1日～2月末日 ⇒ 9:30～16:00 【施設管理者】 東北国営公園事務所 【アクセス】 仙台駅から車で35分 川崎ICより車で5分 【その他】 豊かな自然を生かし、レクリエーションの基本に立った豊かなストーリー性とテーマ性のある4つのゾーンから成り立つ東北地方唯一の国営公園です。「文化と水のゾーン」、「健康と緑のゾーン」、「森と環境のゾーン」、「湖面・湖畔のゾーン」の全ての整備を終え、平成26年6月に全園開園となりました。その面積は647.4haにも及びます。 みちのく公園では、年間を通して季節を感じ、自然と親しみ、また家族で楽しめるイベントを開催しています。花のフェスティバルやイルミネーションなどの季節のイベントのほか、南地区・北地区・里山地区では、みちのくの自然を活かした観察会や工作教室、昔からの暮らしの知恵や文化を学ぶイベントなど、親子で楽しめるイベントを定期的で開催しています。 4～5月 花のフェスティバル 来園15万人 5～6月 ポピーまつり 来園6万人 9～10月 コスモス&コキア de COKO フェスタ 来園12万人 3月 クリスマスローズまつり 来園4万人 年間来場者数 78万人</p>		

1. みちのく杜の湖畔公園ガイドマップ



2. 季節の草花

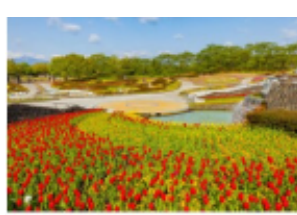
季節・エリアによってさまざまな表情を見せてくれる、みちのく公園の草花。彩のひろばでは10万株の花々が咲き誇り、お花畑では蔵王連峰を背景にポピーやコスモスが一面を彩ります。

【 春 】

花木園の不死鳥スイセンから始まり、園内各所では約1400本のサクラが開花し、春の本番を告げます。そして、彩のひろば大花壇ではパンジー・ビオラ、そして約10万本のチューリップが咲き誇り、だんだん畑ではナノハナが一面に広がり、日本の春の風景を演出します。



サクラ (ソメイヨシノ)



チューリップ



ナノハナ

【 夏 】

初夏の訪れとともに、お花畑ではシャーレーポピーが一面に広がります。本格的な夏が来る前の梅雨の時期、園内を彩るのは多種多様なアジサイ、特にアジサイの小径では9品種のアジサイをお楽しみいただけます。そして、梅雨が明け、夏本番になると河原田古墳のヒマワリ、彩のひろば大花壇のサルビアやマリーゴールドといった夏のお花たちがみちのく公園を彩ります。一方、やすらぎの池に目を向けてみると、水面にスイレンが咲き、暑さの中で涼を感じさせてくれます。



シャーレーポピー



アジサイ



サルビア・センニチコウなど

【 秋 】

秋の気配を感じるようになると、お花畑ではキバナコスモスが見頃を迎えます。そして、秋の深まりとともに、お花畑ではコスモスが一面に広がり、だんだん畑では色とりどりのマム、紅葉したコキアが見頃となります。ミヤギノハギなどの秋の草花やモミジやイチョウなどの木々の紅葉も含め、みちのく公園の秋の風景を作り上げます。



マム



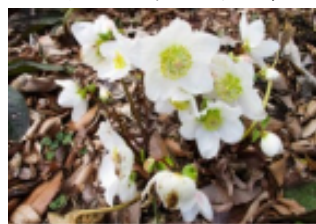
コキア



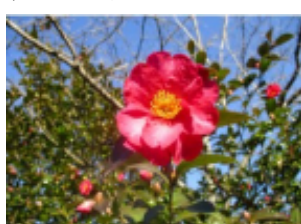
コスモス

【 冬 】

冬本番になると、みちのく公園内では、お花が少なくなります。お花が少ない冬の時期に咲いているサザンカはそのピンク色のお花が一際目立ちます。また、気温の低い日にできるシモバシラの氷の柱は冬ならではの光景です。長い冬が過ぎ、春が近くなる2月頃、クリスマスローズの丘ではクリスマスローズやスノードロップ、ふるさと村や花木園ではフクジュソウやセツブンソウなど早春のお花たちが徐々に咲き始め、公園内もお花でにぎやかになっていきます。



クリスマスローズ



サザンカ



フクジュソウ

3. 体験型・参加型イベント

みちのく公園では、年間を通して季節を感じ、自然と親しみ、また家族で楽しめるイベントを開催しています。花のフェスティバルやイルミネーションなどの季節のイベントのほか、南地区・北地区・里山地区では、みちのくの自然を活かした観察会や工作教室、昔からの暮らしの知恵や文化を学ぶイベントなど、親子で楽しめるイベントを定期的で開催しています。

ルディックウォーキング



釜房湖カヤックツアー



焚火でホットサンド



薪割らばたの会



みちのく古民家ガイド



家来の野菜収穫体験

東北6県の特徴ある歴史、風土、伝統、文化を紹介する古民家が大集合！ふるさと村は、風土と歴史に培われた、みちのくの暮らしの文化を伝える古い茅葺の民家を移築したエリアです。それぞれの民家では、映像や模型、展示物を使って暮らしの知恵を楽しく、見やすく、わかりやすく紹介しています。古民家や田畑を利用して体験学習もできます。



津軽の家(青森県)



遠野の家(岩手県)



本荘由利の家(秋田県)



鳴瀬川河畔の家(宮城県)



月山山麓の家(山形県)



南会津の家(福島県)



釜房の家(宮城県)



長屋門(宮城県)

計画のテーマでの位置づけ



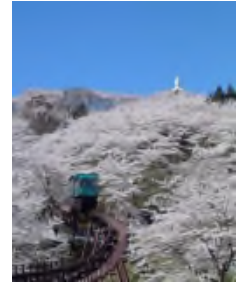
「みやぎ蔵王三十六景」に選定。豊かな自然を生かし、レクリエーションの基本に立った豊かなストーリー性とテーマ性のある4つのゾーンから成り立つ東北地方唯一の国営公園です。広大な園内に広がる四季折々の花が訪れる人々を迎え入れ、彩り鮮やかな花壇越しに蔵王の山々が雄大に横たわっています。

構成庭園一覧表

ふりがな 構成庭園 の名称	ふなおかじょうしこうえん 船岡城址公園	構成庭園の所 在地	宮城県柴田郡 柴田町大字船岡字館山 18-8
<p>2</p> <p>構成庭園 の概要</p>	 <p>【開園面積】 15.3ha 【料 金 等】 入園料：無料 スロープカー：往復 500 円/片道 250 円(大人) // 300 円/片道 150 円 (小人)</p> <p>【公開時期】 公園内は通年開放 スロープカーは毎週土・日・祝日のほか、イベント開催中運行 9時から17時(イベントに併せて運行)</p> <p>【施設管理者】 柴田町</p> <p>【アクセス】 仙台駅から車で50分 村田ICより車で25分 東北本線船岡駅より徒歩15分</p> <p>【その他】 県内で唯一、「日本のさくら名所百選の地」に選ばれた桜の名所で桜の季節には27万人を超える観光客で賑わいます。桜の季節だけでなく、年間を通じて各種花々花のイベントを開催、山頂付近には、ガーデニングクラブによる手作りのコミュニティガーデン花の丘柴田も人気で、年間50万人を超える観光客が訪れます。</p> <p>3 月：しばたスプリング・フラワー・フェスティバル 4 月：しばた桜まつり 6～7月：しばた紫陽花まつり 9 月：しばた曼珠沙華まつり 10 月：しばたオータムガーデンフェスタ 10～11月：みやぎ大菊花展柴田大会 12 月：しばたファンタジーイルミネーション</p>		

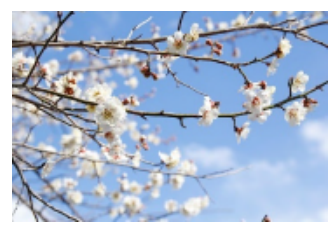
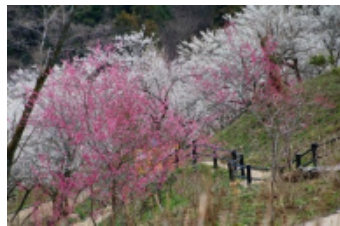
①船岡城址公園のスロープカー

船岡城址公園の観光の目玉として、平成8年10月に完成。20人乗り2両編成の乗り物で一度に40人を運ぶことができます。観光物産交流館「さくらの里」前から船岡平和観音が建つ船岡城址公園山頂までは、305m、乗車時間は片道3分40秒で往復運転しています。毎年4月に開催される「桜まつり」でのスロープカーからの眺めは、まるで「桜のトンネル」をくぐるような気分になります。



②しばたスプリング・フラワー・フェスティバル

初春の公園内に咲く梅や水仙、カタクリなど、春のお花が咲く時期に開催されるフェスティバル。花木の鑑賞のほか音楽祭や台紙付記念写真プレゼントや柴田町特産品コーナー、柴田町イメージキャラクターはなみちゃんの登場などイベントを併せて開催しています。



③しばた桜まつり

船岡城址公園内には1300本以上の桜があり、白石川堤と共に宮城県内で唯一「さくら名所百選」の地に選ばれている。船岡平和観音像の立つ山頂からは、残雪の残る蔵王連峰を背景とした、白石川堤の一目千本桜の眺めは絶景。イベント期間中は国内外から27万人を超える来訪者が訪れます。



④しばた紫陽花まつり

10年前より植栽した紫陽花 1600 本が、船岡城址公園を彩り、2014 年には県内初のアジサイの花まつりが開催されました。柴田町の初夏の花のイベントとして、船岡城址公園内の紫陽花が見る人の目を楽しませます。雨が降ると、紫陽花の色鮮やかさが引き立つので、雨でも楽しむことが出来るのが特長です。



⑤しばた曼珠沙華まつり

平成 25 年から始まった柴田町の夏から秋にかけての花のイベント。船岡城址公園に植えられている 25 万本を超える赤い曼珠沙華（彼岸花）が一面じゅうたんのようには咲き誇り、見る人の目を楽しませます。「赤富士」をかたどった群生スポットや、珍しい白い曼珠沙華も観賞できます。夜にはライトアップを実施。闇に浮かぶ真紅の曼珠沙華をご覧ください。



⑥しばたオータムガーデンフェスタ

令和 2 年度より開催が始まった「しばたオータムガーデンフェスタ」は、宮城県建設造園業協会青年部主催による、プロの造園師たちが軽トラの荷台という「狭小スペース」に、造園の精鋭達が感性豊かな庭園空間を造り上げる軽トラガーデンのデモンストレーションや、寄せ植えづくり講習会やハンキングフラワーづくり講習会など体験型のイベントを多数開催。山頂の里山ガーデンテラスでは、秋空の下、県内外の美しい音楽を楽しく奏でるコンサートも開催されます。



⑦みやぎ大菊花展柴田大会

宮城県大菊花展は県内の菊栽培家が丹精込めて作り上げた菊の花約 300 鉢が一室に展示される。また、全日本菊花連盟宮城県支部や町内菊花品評会、風景菊花など約 1300 鉢が展示される県内最大の菊花展である。



⑧しばたファンタジーイルミネーション

12月に行われる Shibata Fantasy Illumination(しばた ファンタジーイルミネーション)は、船岡の美しい夜景と共に幻想的で鮮やかなイルミネーションの光が同時に楽しめる冬のイベントです。



⑨祭典に合わせた各種イベントの開催

各種イベント開催に合わせて、花をテーマにしたイベントや、地元ボランティアの会「しばた歴史光ガイドの会」のガイドツアー、アーティストによる屋外コンサートなどを開催し、花の祭典のほかに、歴史、文化等を体験できるイベントを多数開催しています。

<p>寄せ植えづくり講習会 美しく盛り立てた寄せ植え作りをしよう！初心者歓迎講習会(子ども可)。 講師: 堀本幸子さん (植物6科・デジカメ講座) 開催: ①10:00～②14:00～ 定員: 先着10名 参加費: 500円 (材料代を含む) 場内: 船岡町観光物産交流館さくら苑・屋外イベントスペース</p>	<p>ハーバリウムづくり講習会 インテリアに彩る装束も楽しく盛り入れましょう(子ども可)。 講師: 松倉智子さん 開催: ①10:00～②14:00～ 定員: 先着10名 参加費: 500円 (材料代を含む) 場内: 船岡町観光物産交流館さくら苑・さくらテラス</p>
<p>ハンギングフラワーづくり講習会 美しいハンギングフラワーづくりをしよう！初心者歓迎講習会(子ども可)。 開催: ①10:00～②14:00～ 定員: 先着10名 参加費: 500円 (材料代を含む) 場内: 船岡町観光物産交流館さくら苑・屋外オープンデッキ</p>	<p>船岡城址公園歴史ウォーク <small>※お申し込み必須</small> 空堀・城山の歴史についてウォーキングしながら学ぶ、朝日新聞のツアーです。 協力: しばた歴史光ガイドの会 11月10(日) ゆみ 10:00～12:00 定員: 先着10名 参加費: 無料 場内: 船岡町観光物産交流館さくら苑の里前に集合 (しばた歴史光ガイドの会) 10:00～12:00の受付は10:00～12:00 ※参加費が甲子園は、海上観光課 (TEL: 55-2123) まで、定額になります(お申込み)</p>




計画のテーマでの位置づけ



「みやぎ蔵王三十六景」に選定。藩政時代の居城跡として歴史的価値もあり、昭和45年のNHK大河ドラマ「縦ノ木は残った」の舞台になりました。船岡城址公園周辺市街地は城下町の街並みを残しています。園内は四季折々の花々が咲き誇り、蔵王連峰を背景としたのどかな街並みと、花修景を楽しめる絶景ポイントとなっています。

構成庭園一覧表

ふりがな 構成庭園 の名称	なのはなばたけ 菜の花畑	構成庭園の 所在地	宮城県角田市藤田字中谷地地内
<p>3</p> <p>構成庭園 の概要</p>	     <p>【開園面積】 3.2ha 【料金等】 無料 【公開時期】 4月中旬～5月上旬 【施設管理者】 角田市 【アクセス】 仙台駅から車（高速道路）利用で60分 常磐自動車道山元ICから車利用で10分【その他】 阿武隈川右岸の河川敷内の3.2haの広さに地元の風呂青年会が250万本の菜の花を植栽しています。「かくだ菜の花まつり」は毎年4月に開催しており、イベント期間中は、1.2万人もの観光客が訪れます。 最近では、常磐道山元インターチェンジも開通し、高速道路網とのアクセスも向上、隣接地に「道の駅かくだ」もオープンするなど、観光地としての周辺環境も向上してきています。</p>		 
<p>計画のテーマでの 位置づけ</p>			<p>「みやぎ蔵王三十六景」に選定。角田市内の阿武隈川右岸河川敷に広がる3.2ha、250万本菜の花畑ごしに、雄大な蔵王連峰を一望できるポイントです。咲き誇る菜の花、青い空、残雪の蔵王が見事なコントラストを奏でます。</p>

構成庭園一覧表

ふりがな 構成庭園 の名称	ざおう みやぎ蔵王えぼしリゾート	構成庭園の 所在地	宮城県刈田郡蔵王町 遠刈田温泉字倉石岳国有地林内
4 構成庭園 の概要	<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">    </div> <p>【開園面積】 8.5ha 【料金等】 入園料(すいせんまつり時)：600円(中学生以下無料) ゴンドラ：往復1300円/片道720円(大人) 往復1000円/片道550円(シニア) 往復800円/片道450円(小中学生) 往復/片道500円(ペット) 【公開時期】 通年開放 ※冬はスキー場として営業 ゴンドラ運行時間 平日9:00~15:30/土日祝8:30~15:45 【施設管理者】 宮城蔵王観光株式会社(みやぎ蔵王えぼしリゾート) 【アクセス】 仙台駅から車(有料道路利用)で60分 村田ICより車で30分 【その他】 宮城蔵王観光(株)が管理運営する85haも広大な山岳斜面敷地では冬季はスキー場として多くの観光客が訪れます。スキーのオフシーズンとなる4~11月は、すいせん祭りにはじまり、高山植物等を観賞できるロックガーデンを開放し、展望グリーンフェスタを開催しています。またトレッキングイベントも開催し自然の高山植物を観賞しながら大自然を体感できる施設となっています。 4~5月：すいせん祭り 6~7月：展望グリーンフェスタ~東北最大級のシロヤシオツツジ群生と山野草~ 6~8月：えぼしロックガーデンの高山植物 4~11月：ロックガーデン</p>		
計画のテーマでの位置づけ	<div style="display: flex;">  <div style="margin-left: 20px;"> <p>蔵王連峰の山岳にある民間施設で、斜面一面に咲き乱れるすいせんも見事ですが、蔵王山麓の高山植物等を観賞できるトレッキングも体感できます。</p> </div> </div>		

構成庭園一覧表

ふりがな 構成庭園 の名称	ざおうらくのう えん 蔵王酪農センター バラ園	構成庭園の 所在地	宮城県刈田郡蔵王町 遠刈田温泉字七日原 251-4
<p>5</p> <p>構成庭園 の概要</p>	 <p>【開園面積】 1ha 【料 金 等】 入園料：無料 【公開時期】 通年開放 【施設管理者】 一般財団法人蔵王酪農センター 【アクセス】 仙台駅から車（有料道路利用）で50分 村田ICより車で25分</p> <p>【その他】 蔵王連峰の山麓にある民間施設の蔵王酪農センターチーズ工場敷地内にあるバラ園には約400種類の1800株のバラが植えられています。イングリッシュローズやオールドローズなど、香りの強い原種に近い種類が多いのが特徴となっています。見ごろのピークは6月上旬～7月上旬ですが、種類によってはそのほかの季節にも咲いています。 チーズ工場の周りに植栽されていますので、チーズ工場ではアイスクリームを買って、バラを見ながら食べることができます。園内にはテーブル&椅子もあり、バラの香りに包まれながら、癒しのひとときを過ごせます。</p>		
<p>計画のテーマでの 位置づけ</p>	 <p>蔵王チーズを使った料理</p> <p>「みやぎ蔵王三十六」に選ばれた「こけし橋」と「北原尾」地区の中間に位置し、雄大な蔵王連峰の絶景ポイントを巡りながら、色鮮やかな花景色を楽しむ施設となっています。 本施設内には、蔵王の恵みから生まれた、チーズや乳製品、ソーセージなどが味わえるレストランなどが充実しています。</p>		

構成庭園一覧表

ふりがな 構成庭園 の名称	ざおうハーブ	構成庭園の 所在地	宮城県刈田郡 蔵王町大字矢附字林前 88-1
6 構成庭園 の概要	      <p>【開園面積】 1.5ha 【料金等】 無料、摘体験は 500～1000 円 【公開時期】 通年開放 【施設管理者】 株式会社ざおうハーブ 【アクセス】 仙台駅から車（有料道路利用）で 50 分 村田 IC より車で 15 分</p> <p>【その他】 蔵王山麓で多種にわたるハーブが植えられており、1.5ha の敷地に 4 万株のカモミールが一面に広がります。また、その背景には雄大な蔵王連峰が広がり、素晴らしい絶景を楽しみながら、散策することができます。蔵王ハーブまつり等のイベントも開催し、ガーデンを楽しみながら、ハーブ摘みを体験できる施設となっています。</p> <p>5～6月：カモミール摘み 6～9月：バジル摘み 5～11月：パクチー摘み 6～10月：ミント摘み</p> 		
計画のテーマでの 位置づけ	 <p>蔵王連峰の山麓にある民間施設であり、商品用のハーブが植栽されたハーブ畑が一面に広がり、蔵王連峰を眺めながら、ハーブ摘み体験やショッピングを楽しむことができます。</p>		

構成庭園一覧表

ふりがな 構成庭園 の名称	しろいしじょう 白石城	構成庭園の 所在地	宮城県白石市益岡町 1 - 1 6
7 構成庭園 の概要	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;">        </div> <p>【開園面積】 8.08h a 【料金等】 無料 【公開時期】 通年開放 【施設管理者】 白石市</p> <p>【アクセス】 仙台駅から車（有料道路利用）で 45 分 白石 IC より車で 10 分</p> <p>【その他】 白石城がある益岡公園内には、200本を超える桜が咲き誇り、毎年花見客でにぎわう桜の名所です。さらに公園内には、紫陽花、ツツジ、アヤメ、アメリカハナミズキなど多くの植物が植生しており、四季を通じて花々を楽しむことができ、年間 8.2 万人の観光客が訪れます。</p> <p>この白石城（別名：益岡城、榊岡城）は、仙台藩の南の要衝として、関ヶ原の戦い後、明治維新までの 260 余年間、伊達家の重臣片倉氏の居城となりました。明治 7 年に解体されましたが、伊達政宗の片腕として名をはせた片倉小十郎景綱の偉業を偲び、平成 7 年に三階櫓（天守閣）と大手一ノ門・大手二ノ門が史実に忠実にそのまま復元されました。</p> <p>毎年秋には、大坂夏の陣で活躍し、鬼小十郎の名を馳せた二代目小十郎重長の活躍と真田幸村との激闘・秘話などを再現した「鬼小十郎まつり」が開催され、片倉軍、真田軍双方 60 騎の武者による合戦や火縄銃の演武など見所満載です。</p> <p>こうした県南の歴史資源と花修景を合わせて堪能することができる施設となっています。</p> 		
計画のテーマでの位置づけ	 <p>白石城からの蔵王の眺望は「みやぎ蔵王三十六景」に選定されています。白石城は伊達家の重臣片倉小十郎の居城であり、片倉小十郎も眺めたであろう雄大な蔵王連峰の姿を望むことができます。</p> <p>こうした歴史を感じながら、花修景を楽しめる公園となっています。</p>		

構成庭園一覧表

ふりがな 構成庭園 の名称	スパッシュランドパーク	構成庭園の 所在地	宮城県白石市小原字西川久保地内
<p>8</p> <p>構成庭園 の概要</p>	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;">      </div> <p>【開園面積】 8.4h a 【料金等】 無料 【公開時期】 通年開放 【施設管理者】 白石市 【アクセス】 仙台駅から車（有料道路利用）で50分 白石ICより車で25分</p> <p>【その他】 小原温泉郷のほど近くにある、レクリエーション型総合公園のスパッシュランドパーク。平成9年に開園した8.4h aの園内には12万株のシバザクラを中心に四季折々に花木と草花が楽しめます。公園全体をキャンパスに見立て花の絵の具で色彩り、特に春に咲き乱れるシバザクラは県内一の名所となっています。なだらかな山の斜面を一面に埋め尽くすシバザクラは、ピンクや白のグラデーションと山の新緑とのコンビネーションも美しい花修景を描いています。プールや温泉なども併設されており、花を楽しんだ後も、楽しめるレクリエーション施設となっています。</p> <p>地域の小中学生、自治会などから多くの人々が参加し、定期的に清掃活動を行っているほか、小原地区活性化推進協議会が、シバザクラ、ムスカリの植栽活動を行っています。令和3年からフラワーアート事業がスタート、令和4年の春には花壇に絵が浮かび上がる予定です。</p>		
<p>計画のテーマでの位置づけ</p>	<div style="display: flex;">  <div style="margin-left: 20px;"> <p>蔵王山麓を流れる白石川を挟んで整備されたスパッシュランドパーク。白石川に架かる全長73メートルの「スパッシュランド大吊橋」からは、壮大な蔵王の大自然と、公園内の色鮮やかな花修景を楽しむことができます。温泉やアスレチック遊具などもあり、癒しの空間とアクティブさを兼ね備えた施設となっています。</p> </div> </div>		

構成庭園一覧表

ふりがな 構成庭園 の名称	しばたのオープンガーデン	構成庭園の 所在地	宮城県柴田郡 柴田町大字船岡字館山ほか
<p>9</p> <p>構成庭園 の概要</p>			
	<p>【開園面積】 個人宅の庭園 合計約 150 m² (10 m²×15 か所) コミュニティガーデン花の丘柴田 A=1,176 m² (約 56m×21m)</p> <p>【料 金 等】 入園料：無料</p> <p>【公開時期】 通年開放 5 か所、年 1～2 回公開 10 か所 (非公開であるが、来客は受入れている。)</p> <p>【施設管理者】 個人 花の丘柴田はガーデニングクラブ(会員 20 名)により管理。</p>		

【 アクセス 】 柴田町内までの目安を記載

仙台駅から車で 50 分

村田 IC より車で 25 分

【 そ の 他 】

1. 活動の概要

1) 目的

柴田町では、「花のまち柴田」をテーマに、魅力あるまちづくりを推進するための一つとして、町民の庭園や里山を公開するオープンガーデンや、町内公園での植栽会や船岡城址公園内の「コミュニティガーデン花の丘柴田」を会場にガーデニングのつどいを開催など実施しています。

2) 活動内容

個人の庭を開放するオープンガーデン。毎年延べ 3,500 人程の愛好家が訪れ、人気のあるガーデンには、1 日で 600 人程が訪れています。町内で一斉に行うオープンガーデンは年 1 回開催ですが、里山を含む 4 宅は、常時開催しています。コミュニティガーデン花の丘柴田は平成 22 年より、船岡城址公園頂上に町民による手づくりガーデンを開設し、ガーデンづくりの専門家のもと、花木や宿根草の他、毎年 1,300 ポットの花苗、1,200 球のチューリップが植栽されています。日常の維持管理も町内のガーデナーたちが所属する「花の丘ガーデニングクラブ」が行っています。近年、園路をバリアフリー化し、車いす等の利用者に配慮しました。ガーデニング愛好者が、個人の所有地を一般公開するオープンガーデンを通じてガーデニング文化の広がりを見せています。これらの取り組みを通じて、ガーデナーの知識の深まりと、レベルアップが図られています。

こうした特色ある庭園や町の花景色をまとめたパンフレットの作成を 2011 年より毎年行っています。

①自治体ホームページ等による情報発信

オープンガーデンに協力をいただいている個人の庭園を、ホームページで紹介するとともに、特色ある庭園や花景色をまとめたパンフレットを作成し、情報発信に努めています。

柴田町紹介HP ↓

<https://www.shibata-index.net/hananomachishibata/index.html>



柴田町のオープンガーデンと花景色を紹介した職員手作りのパンフレット

2011年より、町内のオープンガーデンのお宅の庭園を撮影し、開放日時、場所、魅力などを町の公共施設等の花景色と併せ紹介するパンフレットを作成している。撮影から、構成・レイアウトまで職員が行う手作りのパンフレットとして作成し、今年で10年目を迎えます。



②オープンガーデンの鑑賞会一斉開催

年間を通じて一般開放する庭園もありますが、多くの庭園は個人宅であるため、通年での一般開放は行っていないことから、5～6月の期間で開催日を決めて、各庭園の一般開放を行っています。柴田町では、毎年延べ3,500人程度の愛好家が訪れています。



③植栽会等の開催

柴田町では、船岡城址公園や白石川千桜公園などを中心に、地元企業や地域団体、一般参加者など約 200 名程度参加して、植栽活動を行い、官民が一緒になって、花のまち柴田にふさわしい花景色作りを行っています。



船岡城址公園を中心とする、花のイベント開催時にはオープンガーデンのメンバーが講師となり、寄せ植えづくり講習会などを開催しガーデニング文化の広がりを推進しています。

寄せ植えづくり講習会
 楽しく色とりどり寄せ植えを作りましょう！初心者向け講習会(子ども可)。
 講師：橋本幸子さん(花のまちガーデニングクラブ主宰)
 開催：①10:00～ ②14:00～
 定員：先着10名
 参加費：500円(材料代を含む)
 場所：紫雲洞観光物産交流館さくらの里・屋外イベントスペース

ハンギングフラワーづくり講習会
 かわいいハンギングフラワーづくりをトライしてみませんか？(子ども可)。
 開催：①10:00～ ②14:00～
 定員：先着10名
 参加費：500円(材料代を含む)
 場所：柴田町観光物産交流館さくらの里・屋外オープンデッキ



計画のテーマでの位置づけ

花をテーマとした住民参加のまちづくりを实践し、まち全体が花であふれ、たくさんの人々が訪れ満足してもらえる「花のまち柴田」を目指し、官民が連携した花文化の創造を推進する取り組みとなっています。

その他計画の実施にあたって必要な事項

1. 「みやぎ蔵王三十六景」から始まった広域連携

平成16年に大河原地方振興事務所では、県南地域の2市7町（白石市、角田市、蔵王町、七ヶ宿町、大河原町、村田町、柴田町、川崎町、丸森町）や各商工会と連携し、各地の「蔵王」を背景にした素晴らしい景観36ヶ所を「みやぎ蔵王三十六景」として選定しました。この「みやぎ蔵王三十六景」を地域全体で共有し、魅力ある観光資源としてPRするとともに、「みやぎ蔵王三十六景」を活用した食と観光のブランド化を進めております。

「みやぎ蔵王三十六景」のシンボルマークは、蔵王の山々の広がりや、雪山をメインに四季折々に見せる蔵王の美しさ等を表現しています。



インフォメーション

白石市観光振興協議会 0234-22-1231
http://www.city.akita.lg.jp

角田市観光振興協議会 0234-43-2130
http://www.city.akita.lg.jp

蔵王町観光 0234-33-2215
http://www.town.sanchi.akita.lg.jp

七ヶ宿町ふるさと観光課 0234-37-2177
http://www.town.sanchi.akita.lg.jp

大河原町観光 0234-53-2659
http://www.town.ogawara.akita.lg.jp

村田町地域振興課 0234-63-2113
http://www.town.murata.akita.lg.jp

柴田町観光 0234-59-2123
http://www.town.chibata.akita.lg.jp

川崎町観光 0234-44-1111
http://www.town.kawasaki.akita.lg.jp

丸森町観光 0234-72-2017
http://www.town.marumori.akita.lg.jp

『みやぎ蔵王三十六景』とは
東北を代表する観光地で、
雄偉な山々を誇る蔵王。
雄偉な山々を誇る蔵王。
平成16年、2市7町・7商工
会と連携し、蔵王地域の
36ヶ所の景観を選定した
「蔵王三十六景」を
「みやぎ蔵王三十六景」として
選定しました。
是非、お出かけください。

こうした、「みやぎ蔵王三十六景」を広域連携によって取り組んだことをきっかけに、広域連携によるさらなる施策展開に向け、平成19年には、「みやぎ蔵王三十六景ブランド創造会議」を設立しました。この会議では、行政だけでなく食産業、宿泊業等の観光関係事業者が連携し、広域圏での食と観光のブランド化に向け美しい景観や地場産品のPR等の取り組みを継続的に行っています。その取り組みの一つとして、蔵王山麓に点在する温泉地が連携し「みやぎ蔵王温泉郷」として、一体的な情報発信や誘客に取り組んでいるところです。



また、平成29年には県南4市9町（白石市、角田市、蔵王町、七ヶ宿町、大河原町、村田町、柴田町、川崎町、丸森町に岩沼市、名取市、亘理町、山元町を加えた4市9町）におけるインバウンド観光を軸とした観光地域づくりを目的とした宮城インバウンドDMO推進協議会を設立し、「一般社団法人宮城インバウンドDMO」と連携した、取り組みを展開しています。



海外でのプロモーション



みやぎ蔵王のラッピングバス運行

2. 「道の駅」、「農産物直売所」が点在

県南地域は、国道4号や国道6号などの国道幹線が走っていることに加え、東北新幹線、東北本線、常磐線の鉄道網や東北自動車道、山形自動車道や常磐道等、高速交通網も整備されており、交通利便性に恵まれた地域です。こうした理由から、近年では「道の駅」や「農産物直売所」が相次いでオープンし、連日多くの観光客でにぎわっています。

□道の駅 七ヶ宿（七ヶ宿町）

国道 113 号沿い、七ヶ宿ダム自然休養公園に隣接した場所に設置された「道の駅七ヶ宿」。平成 5 年 4 月に道の駅の認定を受け、平成 26 年 4 月「道の駅七ヶ宿」がリニューアルオープンしました。目前にはダム湖と自然休養公園が広がり、春には一面の桜、秋には山々の紅葉と、季節により様々な表情を道の駅から望むことができます。

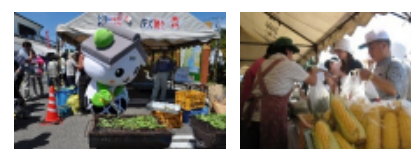


□道の駅 村田（村田町）

道の駅「村田」は、東北自動車道村田インターチェンジから 100 m の距離にあり、町の中心部には、みちのく宮城の小京都「蔵の町村田」と呼ばれる豪勢な蔵が建ち並んでいます。村田町のイメージにあった蔵風の外観で、農産物をはじめ地場産品の展示販売を行っています。

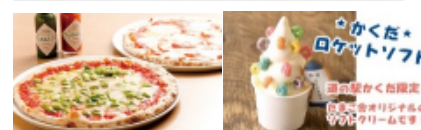


6 月には「そら豆まつり」が開催され、特産品そら豆の即売会やそら豆の炭火焼お振る舞い、そら豆袋詰め放題などが実施されます。また、8 月は特産品「とうもろこし^{みらい}味来」の販売推奨月間で、店頭には数多くのとうもろこしが並びます。粒が柔らかく生で食べられるほど糖度が高いのが特徴で、「フルーツコーン」とも呼ばれています。



□道の駅 かくだ（角田市）

道の駅「かくだ」は、角田市内の阿武隈川右岸側に隣接し、常磐道山元インターチェンジから車で 10 分の距離にあります。5 つの「め」"米・豆・梅・夢・姫のまち 角田の新交流拠点"として平成 31 年 4 月 19 日にオープンいたしました。角田産の魅力あふれる農産物・加工品・飲食メニューをご用意して、訪れるたびに新しい発見がある「ワクワク」する道の駅を目指しています。



□おもしろいし市場（白石市）

平成31年4月にオープンした、「おもしろいし市場」は、東北自動車道白石インターチェンジから福島方面に車で5分程度の距離にあり、国道4号に隣接した場所にあります。

敷地内に併設されている子育て支援・多世代交流複合施設、「こじゅうろうキッズランド」は、県内でも珍しい大型遊具を備えた屋内遊び場で、週末には多くの家族連れが訪れます。「6次産業化加工施設(みのり Factory)」と地元食材をふんだんに使った「みのりキッチン」もオープンしています。



□山元町農水産物直売所「やまもと夢いちごの郷」（山元町）

平成31年2月にオープンした「やまもと夢いちごの郷」は、国道6号に隣接し、常磐道の山元南スマートインターチェンジから車で5分、JR常磐線坂元駅から徒歩1分の場所にあります。

山元町の特産品であるいちごやりんご、ホッキ貝、シャインマスカットをはじめ、旬の野菜、新鮮な魚介類、山元ブランド「やまほど、やまもと。」を中心とする加工品、できたてのお惣菜など、豊富な品揃えが人気です。町内の観光情報の提供、いちご狩りシーズン時には町内各農園のいちご狩りも受付しています。

また、令和3年1月にはフードコートがオープンし、「和・洋・中」それぞれのメニューを提供する3店舗が入居し、時季の郷土料理や地元食材を活用した料理など、バラエティーに富んだ食事を楽しむことができます。



□いきいき交流センター大内（丸森町）

いきいき交流センター大内は常磐自動車道新地インターチェンジから車で約10分程の距離にあり、国道113号に隣接した場所にあります。地元農産物のほか、加工品や民芸品なども充実しており、併設しているパン工房での焼きたてパンも販売しています。同敷地内にあり、土日祝日のみ営業している「鹿狼山いちば」では地元商店などの直売も楽しめます。



□丸森物産いちば八雄館（丸森町）

丸森物産いちば八雄館は常磐自動車道山元インターチェンジから車で約 25 分の距離にあり、県道 45 号に隣接した齋理屋敷向かいの場所にあります。地元生産者が作る梅干、味噌、漬物などの加工品は素材の良さが生きて、味わい豊かな商品を販売しております。併設しているホールは各種展示及びサークル活動、休憩所としてご利用いただけます。



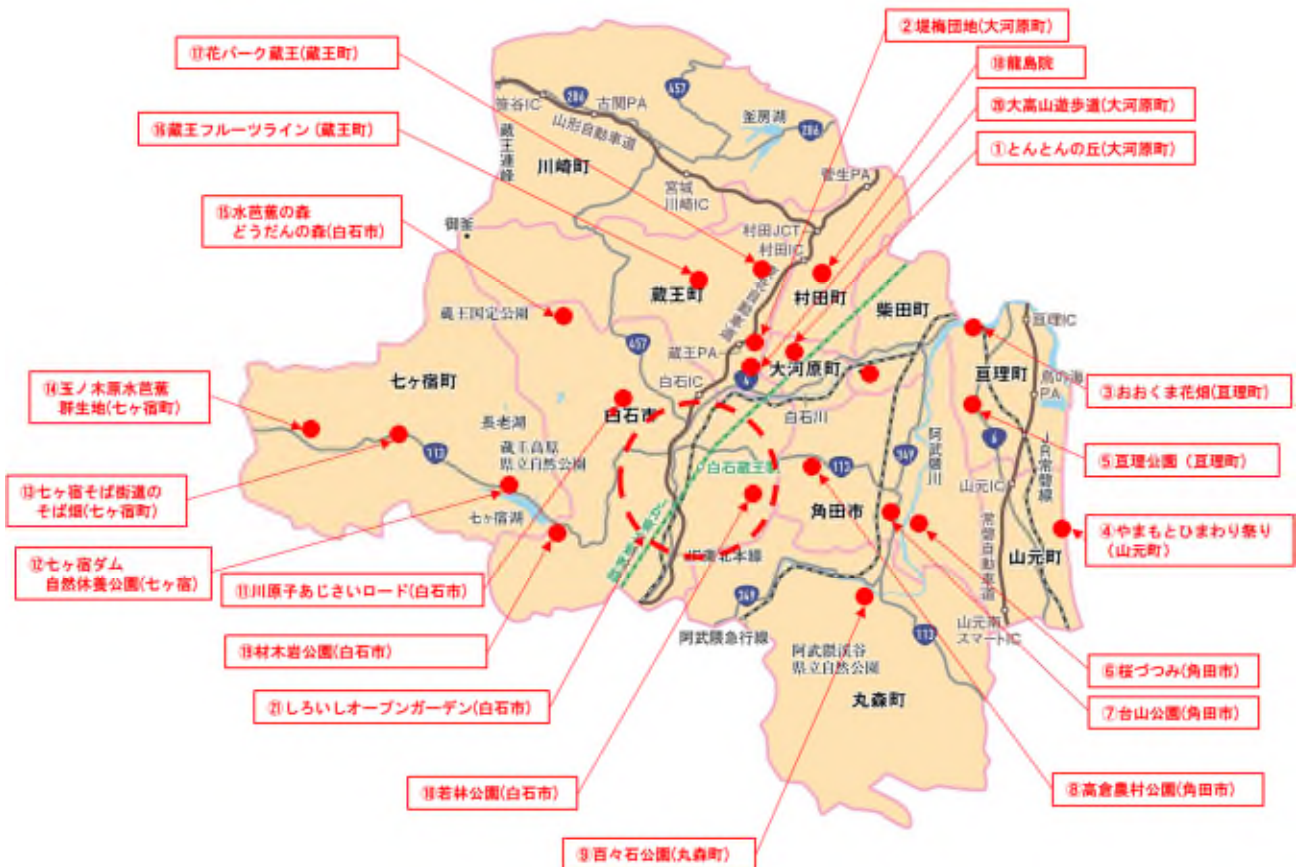
□おおくまふれあいセンター（亶理町）

国道 6 号線に隣接した場所にあります。亶理の生産者が収穫した旬の採れたて野菜・いちごやりんごなどの果物・季節の切り花・鉢花・JAいちごワインなどを販売する産直施設です。特に切り花は長く持つと有名で季節の花や鉢花を家でも楽しむことができます。



3. 構成庭園外のフラワーガーデン

県南地域では、前に記載した構成庭園以外でも多くのフラワーガーデンの取り組みが盛んであることから、そのフラワーガーデンの取り組みについて紹介します。なお、以下の庭園では、観光客の受け入れ態勢が不十分なことや、やまもとひまわり祭りのように、沿岸部の農地の地力増進を目的とし、開催場所を毎年変更するなどの事情から、現時点では構成庭園に入れておりませんが、各庭園の伸展によって構成庭園に追加していきます。



①とんとんの丘（宮城県柴田郡大河原町新寺字北 185 番地 11）

- 【開園面積】 約 2 ha
- 【料 金 等】 入場無料
- 【公開時期】 営業時間 10：00～17：00 第3水曜日定休
- 【施設管理者】 株式会社ヒルズ（民間）
- 【そ の 他】

大河原町西部の丘陵地にある「とんとんの丘」は、散策路や動物とふれあえる「わんぱくの森」などの里山広場や、産直施設や日帰り温泉の施設です。四季折々の草花が楽しめる散策路で春は梅・桜、夏はバラ・アヤメ、秋は紅葉が見頃となります。

県南地域の農産品や農産加工品、地場産品等が販売されており、地域農業の活性化、地産地消の拠点を目指している店舗です。



②堤 梅 団 地（宮城県柴田郡大河原町堤地内）

【開園面積】約6ha

【料 金 等】無料（梅団地内は私有地）

【公開時期】梅団地の見頃時期 3月中旬

【施設管理者】金ヶ瀬梅組合（各組合員の私有地）

【そ の 他】

大河原町は梅の産地であり、現在は約3,000本余りの「白加賀」、「南高」、「花香実」、「石川」といった品種が植えられています。例年3月中旬になると芳香を放ち、美しく咲き誇ります。

また、毎年6月下旬に、梅組合が主体となり、町や地元物産業者の協力のもと「おおがわら梅まつり」を開催しています。まつり会場のほか、梅団地での梅狩りにも多くの来場者でにぎわっています。



③おおくま花畑（宮城県亶理郡亶理町逢隈田沢字上川地内）

【開園面積】1.6ha

【料 金 等】入園料：無料

【公開時期】5月上旬：クリムソクローバー
9月上旬：ひまわり

【施設管理者】逢隈地区まちづくり協議会

【そ の 他】



地元の大隈地区まちづくり協議会が主体となって、クリムソクローバーやひまわりを植栽し、阿武隈川河川敷一面（1.6ha）にクリムソクローバーやひまわりが咲き誇ります。

亶理町は、沿岸部に隣接していることもあり、東日本大震災では、甚大な被害を受けました。そのため、ひまわり、クリムソクローバーの太陽へ向かって真っすぐに開花するひまわりのように、震災復興への祈りを込めて地域住民による手作りによるフラワーガーデンが広がっています。

④やまもとひまわり祭り

【開園（作付）面積】6～8.5ha

【料 金 等】無料

【公開（開放）時期】7月中旬～8月上旬

【協力】株式会社やまもとファームみらい野、（一社）まちづくりやまもと、
株式会社やまもと地域振興公社

【そ の 他】

東日本大震災で被災した沿岸部における、大規模な農地整備事業で生み出された畑地の地力増進のため、ヒマワリを作付けしています。1haあたりの開花本数は約25～30万本と県内最大規模であり、期間中は県内外から多くの方々が訪れます。令和3年度は東北デスティネーションキャンペーンの特別企画にも選ばれました。

同じ沿岸部には、県南地域で唯一の震災遺構中浜小学校があります。中浜小学校は、平成23年（2011年）3月11日、屋上に避難した児童と協力員、保護者ら90人の命を守り抜いた校舎で、津



波や高潮への対策が事前に施されたものでした。

中浜小学校は内陸の坂元小学校と統合され、平成25年（2013年）に閉校となりましたが、山元町では宮城県南部に残る唯一の被災建築物である校舎の保存・活用を決定。大津波の痕跡をできる限り残したまま整備し、震災の教訓を風化させず、災害に対する備え、意識の大切さを伝承する震災遺構として公開しています。遺構保存の手法や見学体験の工夫などが評価され、令和2年度にグッドデザイン賞を受賞しました。



⑤ 亘理公園（宮城県亘理郡亘理町逢隈鹿島字寺前南76）

【開園面積】 7.3ha

【料金等】 入園料：無料

【公開時期】 公園内は通年開放

【施設管理者】 亘理町

【その他】

亘理町が管理する都市公園。花園（桜、アヤメ、菜の花、ドウダンツツジ、パンジー、バラ、シヤクヤク、アジサイ、マリーゴールドなど）アスレチック遊具やローラー滑り台が設置してあります。

自然豊かな公園で、敷地内には、野球場やテニスコートなどの運動施設も整備されており、山の傾斜を利用した全長60mのローラー滑り台、アスレチックの広場やちびっ子広場など幅広い年齢層が楽しめます。公園の一部に庭園エリアがあり、葉の花をはじめとして四季を感じることができる花々が植栽されています。



⑥ 桜づつみ（宮城県角田市藤田字風呂1番地地先～枝野字青木地内）

【開園面積】 50,768.13㎡

【料金等】 無料

【公開時期】 通年 ※桜開花は4月上旬

【施設管理者】 角田市



⑦ 台山公園（宮城県角田市角田字田袋73-1）

【開園面積】 7.2ha

【料金等】 無料

【公開時期】 通年 ※桜開花は4月上旬

【施設管理者】 角田市

【その他】

角田市スペースタワー・コスモハウス隣接しており、公園内には噴水や、遊具などもあります。



⑧高倉農村公園（宮城県角田市高倉字寺前地内）

【開園面積】7,335 m²

【料 金 等】無料

【公開時期】通年 ※桜開花は4月上旬

【施設管理者】角田市

【そ の 他】

境内の桜、約600本が開花する4月上旬には高蔵寺さくらまつりを開催しています。歴史資源である、高蔵寺阿弥陀堂、旧佐藤家住宅と隣接し、高倉清流桜並木と繋がっていることから、市内でも人気の花見スポットとなっています。



⑨百々石公園（宮城県伊具郡丸森町字田町北）

【会場面積】13.86ha

【料 金 等】無料

【公開時期】4月：サクラ 5月：ツツジ

6月：アジサイ 7月：ヤマユリ 8月：ヤマハギ

【施設管理者】丸森町

【そ の 他】

丸森町の町並みや阿武隈川を眺めおろせる見晴らしのよい公園となっています。

普通車5台分の駐車場がありますが、公園までの道が狭くU字状のカーブもあるため、バスは通行不可となっています。



⑩若林公園（白石市大鷹沢大町字若林134-1）

【開園面積】46,072 m²

【料 金 等】無料

【公開時期】通年解放

【施設管理者】白石市

【そ の 他】

園内の弁天沼のほとり約100メートルに30本のノダフジが植えられおり、甘い香り漂う藤棚のトンネルを楽しめます。



⑪川原子あじさいロード（宮城県白石市福岡字八宮地内）

【開園面積】鎌先温泉から川原子ダムまでの約8km

【料 金 等】無料

【公開時期】通年解放

【施設管理者】川原子あじさいを愛する会

【そ の 他】

南蔵王山麓の白石市川原子地区にあり、鎌先温泉から川原子ダムまでの約8kmの区間に色とりどりのアジサイ、約5,000株が咲き誇ります。「川原子あじさいロード」を管理する「あじさいを愛する会」は約40年にわたって手入れを続けたことが評価され、宮城県から「住みよしみやぎづくり功績者」の表彰を受けました。



⑫七ヶ宿ダム自然休養公園（宮城県刈田郡七ヶ宿町字上野）

【開園面積】 28ha

【料 金 等】 無料

【公開時期】 4月～11月まで（12月～3月までは閉鎖）

【施設管理者】 七ヶ宿町

【そ の 他】



七ヶ宿ダム自然休養公園は、七ヶ宿ダムによって出現した湖面の有効利用を図るため整備された28haの広大な公園です。自然環境を活かしつつダム湖ではボートやヨット等を楽しめるスポットです。園内には、桜をはじめ77種7,777本もの樹木が植えられています。そのうち、約3,500本が桜の木となっており、公園一面を桜が覆います。

4月：七ヶ宿湖さくら祭り

8月：七ヶ宿火まつり

10月：七ヶ宿湖一周ウォーキング

⑬七ヶ宿そば街道のそば畑（宮城県刈田郡七ヶ宿町滑津～湯原）

【開園面積】

【料 金 等】 無料

【公開時期】 8月下旬～9月中旬

【施設管理者】 そば畑所有者

【そ の 他】



そばは、本町の名産品として、古文書「奥羽観迹聞老志」にも記録が残されています。国道113号沿いには多数のそば畑があり、8月下旬から9月中旬にかけてそばが一斉に白い花を咲かせます。白い絨毯を敷き詰めたような美しい情景が街道を通る方々を魅了してくれます。

11月：新そば祭り

⑭玉ノ木原水芭蕉群生地（宮城県刈田郡七ヶ宿町字蟹川）

【開園面積】 3.5ha

【料 金 等】 無料

【公開時期】 4月～5月まで

【施設管理者】 七ヶ宿町

【そ の 他】



山形県との県界に位置する玉ノ木原水芭蕉群生地は、国道113号沿いにあり、約3.5haの面積に約7万株の水芭蕉郡が見られます。水芭蕉は、山間の湿地帯に生える植物で、春になると20～30cmの白い花を咲かせます。

4月：オープニングセレモニー

⑮水芭蕉の森・どうだんの森（宮城県白石市福岡深谷字白萩山地内）

□水芭蕉の森

【開園面積】 84,048 m²

【料 金 等】 無料

【公開時期】 通年解放

【施設管理者】 白石市

【そ の 他】

3,600 m²の水芭蕉群生地に、約1.7kmの森林・水芭蕉見学路があり、4月上旬から下旬にかけて一面に咲き乱れます。平成30年4～6月入り込み：15,463人



□どうだんの森

【開園面積】 15,368 m²

【料 金 等】 無料

【公開時期】 通年解放

【施設管理者】 白石市

【そ の 他】

水芭蕉の森に隣接し、遊歩道及び木橋を進むと自然サラサドウダンの群生地があります。5月下旬から6月中旬に花が咲き、枝先垂れ下がる淡紅色の可憐な花が一面に広がります。平成30年4～6月入り込み：15,463人



⑯蔵王フルーツライン（宮城県刈田郡蔵王町大字円田字曲木）

【開園面積】

【料 金 等】 通行無料

【公開時期】 通年開放

【施設管理者】 果樹園所有者

【そ の 他】



通常は梨や桃、りんごなどを生産・販売する観光果樹園が集中している県道12号線の愛称です。初夏には果樹の花が彩ります。蔵王連峰の登山道となる「蔵王エコーライン」及び「蔵王ハイライン」へ通じる県道沿線に、蔵王の名産である、梨、桃やりんごなどを生産する果樹畑が集中しています。県道沿いには、果樹の直売所が店を並べ、雄大な自然と、果樹を眺めながら、蔵王の名産の果樹類を味わうことができます。

⑰花パーク蔵王（宮城県刈田郡蔵王町円田字助六壇）

【開園面積】 2.2ha

【料 金 等】 入園料：無料

【公開時期】 通年開放

【施設管理者】 NPO いやしの郷 北境

【そ の 他】

地域住民のグループ「NPO いやしの郷 北境」が整備した憩いの場・「花パーク蔵王」。桜やツツジ、アジサイなどを見ることができ、夏祭りや冬のイルミネーションなど季節ごとに楽しめるイベントもあります。



⑱龍 島 院

【開園面積】約 1300 m²

【料 金 等】拝観料：100 円

【公開時期】 通年：9 時～17 時

【施設管理者】 西湖山 龍島院

【そ の 他】



龍島院は天授元年(1375年)に開山し、院内の庭園は宮城観光百選にも選ばれ、四季折々の素晴らしい庭の表情を見ることができます。仙台藩主伊達政宗公の七男、柴田刈田三万石城主伊達宗高公(伊達政宗公七男・二十歳)の遺骸が葬ってある伊達家の菩提寺となっています。

この庭園様式は、滝組を中心として造られた池泉観賞式庭園です。自然の地形を生かし中央に三尊石組、右奥に須弥山の各石組を配し、幽邃(ゆうすい)の境を感じさせます。古式床しい石組と植栽の数々は四季折々野趣に富み、訪れる人に生気と安らぎを与えてくれます。

庭園の深奥に福寿・無量の霊泉が湧出し龍化爆へと流れ落ち、これが龍門瀑となって臥龍池へと注ぎます。滝名の由来は、中国黄河にかかる龍門瀑の故事から生じました。即ちこの険瀑を登り得た魚のみが昇天し龍神に変化するとの伝説によるものです。

元和九年(1623)に蔵王連峰の刈田岳が噴火し、翌年になっても止まず、郷土に大きな被害をもたらしました。そこで伊達政宗公の命を受けた宗高公は、刈田岳に登り天に命願し、噴火を鎮めたといわれています。このように県南地域においても、こうした蔵王連峰と深い歴史を持ちながら、古くからの庭園文化を継承している貴重な庭園となっています。

⑲材木岩公園(宮城県白石市小原上台 地内)

【料 金 等】入園料：無料

【公開時期】 通年開放

【施設管理者】 白石市

【そ の 他】



七ヶ宿ダム下流に位置する『材木岩公園』。ここにもまた、市民に親しまれる”花のある景色”が広がっている。公園のメインは国の天然記念物にも指定される「小原の材木岩」。木材のように柱状になった高さ 65 メートルほどの岩が、横に 100 メートルほどずらりと並んでいる。この岩壁を背景に花を咲かせ、人々を魅了するのがソメイヨシノの桜並木。白石川をはさんで、向こう岸には力強い材木岩、手前には優しく揺れるサクラが連なり、それぞれが持つ魅力のコントラストに心を掴まれる。山間の『材木岩公園』に桜の便りが届く頃には『春の検断屋敷まつり』が開催される。川の上を数百もの鯉のぼりが泳ぎ普段の自然美とはまた違った魅力を見て取ることができる。『検断屋敷まつり』は、夏は七夕飾りを、秋は紅葉を主役で開催。四季折々に市民を楽しませるスポットです。公園内には、この土地で養蚕業が栄える要となった『氷室』や、江戸時代に賑わった宿場町の象徴を復元した『検断屋敷』など歴史を感じる見どころも。土地が持つ記憶に思いを馳せながら、その景観を楽しめます。

⑳大高山遊歩道

(宮城県柴田郡大河原町金ヶ瀬・堤)

【開園面積(距離)】

約1kmにわたって遊歩道の両側に咲く。

【料金等】無料

【開花時期】カタクリ：3月下旬から4月中旬

【施設管理者】大河原町

【その他】

大高山遊歩道(友遊小みち)は平成7年・11年に整備された散策と自然観察を目的とした大河原町の遊歩道。うす紫色の花を咲かせるカタクリは、春の遊歩道沿いでみるすることができます。四季折々の姿を楽しみながらの自然観察やウォーキングも楽しみ、里見展望台からは、春は眼下に白石川沿いの桜並木を見ることができます。



㉑しろいしオープンガーデン(白石市内)

しろいしオープンガーデンでは丹精込めて花木を育てられている方のご協力をいただき、お庭等を公開していただいています。そこでは、庭主と直接会話をしながら庭園を楽しむことができ、ガーデニング愛好者が、個人の所有地を一般公開するオープンガーデンを通じてガーデニング文化の広がり、人と人との楽しい交流が生まれています。

さらに、平成27年度のみやぎ県民大学地域力向上講座をきっかけに始まった「面白石(おもしろい)の会」では、白石を元気にしたいと熱い想いを持つ方々が集まり、学び、話し合いを重ね、考えながら、花と緑でワクワクするまちづくりへのアイデアを実践してきました。その中の一つの事業として、オープンガーデンのほか、白石駅や白石城などでの緑化活動、花をテーマにした交流イベントを行うなど、花と緑のまちづくりに取り組んでいます。



実施する事業と実施体制

(1) これまでの取組

1. みやぎ蔵王ハーモニー花回廊推進協議会の取り組み

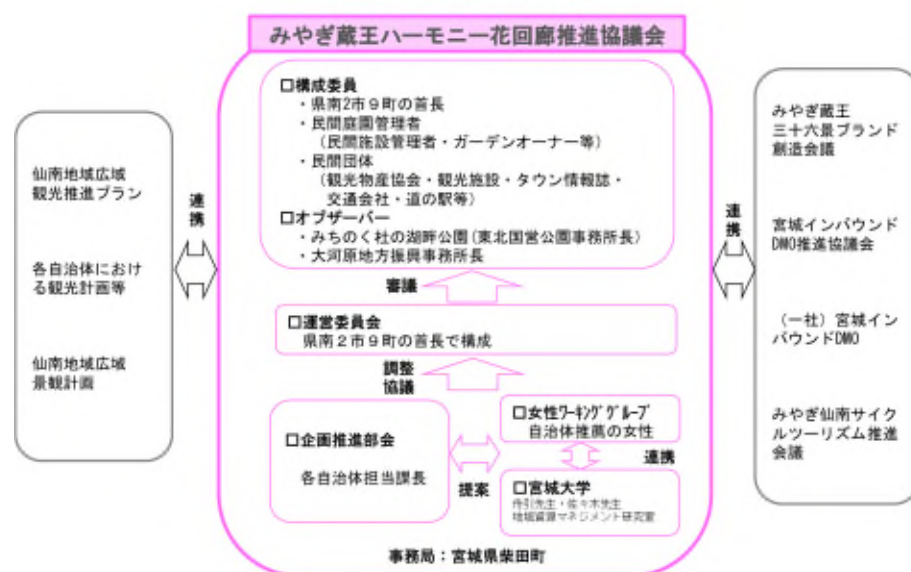
(1) 目的・経緯

みやぎ蔵王を背景とした花風景と観光を結びつけるとともに宮城県南地域において点在する庭園管理者等が一体となって連携を図ることにより、県南エリアの認知度や交流人口及び関係人口の増加を図り、もってガーデンツーリズムの促進と地域の活性化を図ることを目的として、令和元年8月に設立。

(2) 組織構成

組織委員には、宮城県南地域の2市9町の市長、町長11名、民間事業者・関係機関等の庭園管理者や代表者等23名とオブザーバーとして、国土交通省東北地方整備局東北国営公園事務所長、宮城県大河原地方振興事務所長の2名の合計36名で協議会を構成。

【協議会体制概略図】



(3) 活動実績

コロナ禍の影響により、全国的に観光イベントが自粛・中止をせざるを得ない中、女性視点での魅力あるガーデンツーリズムの構築を目指し女性ワーキンググループを発足、次の項目について意見交換を行った。

① 県南地域におけるガーデンロード・タイトルの設定

ワーキングでは、県南地域における地域資源の再確認を行うとともに、「東北らしい魅力」、「県南地域の魅力」について、ワーキングを行い、「東北の花と神秘を巡る旅」というテーマに決定しロードマップを作成しました。



②協議会のロゴマーク、スタッフジャンパー等のデザイン

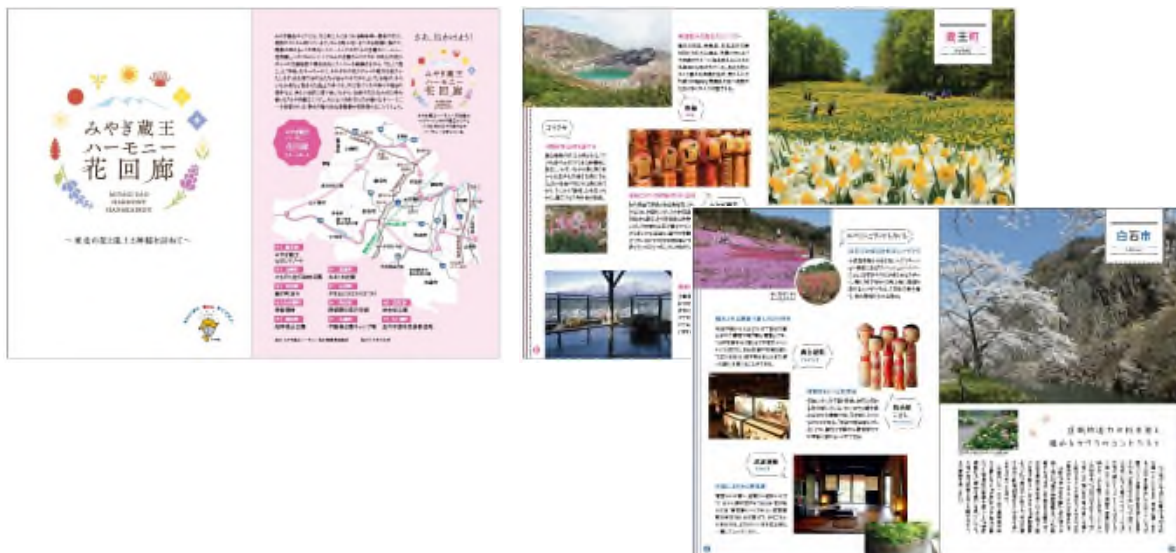
協議会のシンボルマークとして、「みやぎ蔵王」のシルエットを中心に、各構成市町の象徴となる花々のモチーフで囲み、東北らしいレトロ感を演出する書体で演出しました。

みやぎ蔵王を背景とした、みやぎ県南地域に点在する花園を協議会が中心となり活動を展開していくことへの象徴的なマークとして決定しました。



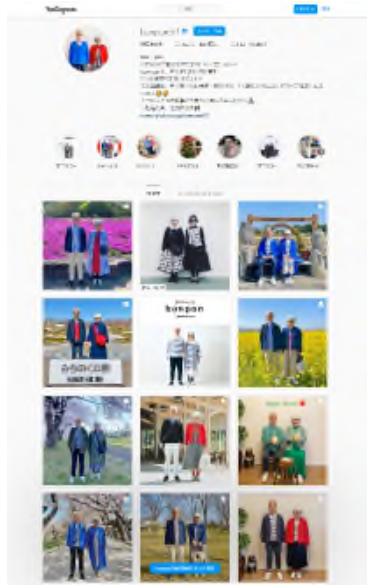
③東北の花と風土と神秘を訪ねる「みやぎ蔵王ハーモニー花回廊」ガーデンツーリズムガイドブックの作成

県南地域ならではのガーデンツーリズムを楽しんでもらうため、自治体ごとに花の名所の成り立ち・特徴・見どころなどを読み物語風に紹介しています。また、東北の「花」・「風土」・「神秘」にかかるスポットの紹介も併せて行い、花スポットと併せて訪れてほしい周遊スポットを掲載しています。



4) インフルエンサーを活用した情報発信

フォロワー数、約 83 万人、仙台在住のインフルエンサー「bonpon511」様に、県南地域の花スポットの様子を Instagram にて紹介。



60代の共白髪のご夫婦（夫＝bon、妻＝pon）で、bonさんの退職後、秋田市から仙台市に移り住み、二人暮らしのセカンドライフの中で、各地へ訪れた模様をアップしています。おそろいのコーディネートは、全国誌での紹介やショップとのコラボなど、若者から同世代まで、幅広い層に人気。20代から30代の若者に人気の情報誌「せんだいタウン情報 S-style」や「Kappo」などの特集企画にも登場し、仙台圏、宮城で最も知名度の高いインスタグラマーです。

⑤地元情報誌 Web サイトを活用した情報発信

仙台・宮城で46年間タウン情報誌を発行している株式会社プレスアートのWebメディア「日刊せんだいタウン情報 S-style Web」で情報を発信しました。20代から40代に多くみられているWEBサイトです。SNSのフォロワー数も充実しており、さらに、グルメ、お出かけ、イベントなど、編集部スタッフが日刊(毎日)記事を発信しており、情報拡散にたけているメディアです。



⑥デモツアーの実施・検討

・マイクロツーリズムを意識した、日帰りプランを想定し、大型バスを使ってデモツアー方式で実施。

現地案内ルート (日帰りコース)



- ①太平洋沿岸の山元町
(震災遺構中浜小学校とひまわり畑)
- ②大河原町
(もちぶた館・
おおがわら天然温泉いい湯)
- ③蔵王町
(蔵王酪農センターバラ園)
- ④村田町
(道の駅村田)
- ⑤柴田町
(船岡城址公園・コミュニティガーデン)

- ・女性ワーキングで検討した秋の日帰りルートとして、大型バスにてモニターツアーを実施。秋は、花々のスポットが少ないことから、紅葉を見ながら、各地域の文化を体験できるツアーとして、次のルート設定。女性メンバーによるモニターツアーを実施した。

女性ワーキングによるモニターツアールート（日帰りコース）



- ①白石城益岡公園（白石市）
（集合・解散場所として設定）
- ②みちのく杜の湖畔公園（川崎町）
（秋の紅葉と
東北6県の古民家を見学）
- ③街道 HOSTEL おたて（七ヶ宿町）
（そば打ち体験・昼食）
- ④すみやのくらし（七ヶ宿町）
（カフェ・フラワーアレンジメント）
- ⑤道の駅七ヶ宿（七ヶ宿町）
（地場製品の買い物）
- ⑥白石城益岡公園（白石市）
（集合・解散場所として設定）

みちのく
杜の湖畔公園

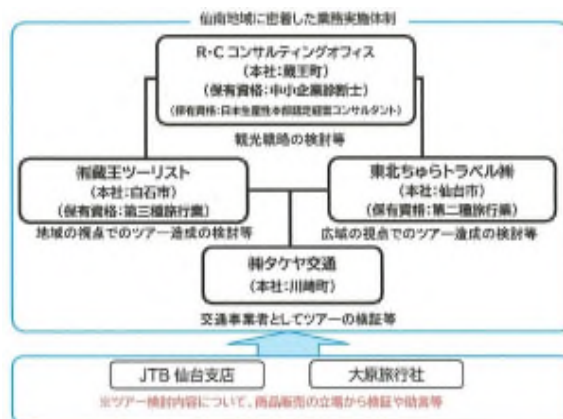
街道 HOSTEL
おたて

すみやのくらし

道の駅
七ヶ宿



- ・四季ツアーコースの構築を図るためプロポーサル方式により民間事業者から提案を募集。4社の提案の中から、経営コンサルタント、旅行事業者、交通事業者との共同提案体と契約。
- ・コース構築にあたっては、女性視点に重点を置くため、女性ワーキングメンバーの意見を取り入れながら進め、年度内2回程度のデモツアーを実施します。



2. 各自治体等における、これまでの取り組み状況

みやぎ蔵王山麓に広がる県南2市9町においては各公園や花畑において春の水芭蕉に始まり、梅、桜、菜の花、スイセン、アジサイ、ヒマワリ、彼岸花、菊、紅葉と四季折々の花祭が開催されています。さらに、柴田町において5～6月にかけて各家庭のお庭を巡るオープンガーデンが開催されており、特に女性の人気を博しています。

(1) 各自治体、民間庭園により個別に開催しているイベント

□白石市

白石城（益岡公園）、スパッシュランドパーク、どうだんの森、水芭蕉の森など市が管理する公園等には、桜をはじめとして、シバザクラ、自然サラサドウダン、水芭蕉、ノダフジが植生されており、季節ごとに来訪者を受け入れています。また、材木岩公園では、4月下旬から5月の連休にかけて、「鯉のぼりの吹き流し」が行われ、白石川に何百匹もの鯉のぼりが泳ぎ、川沿いの桜と鯉のぼりの共演は、圧巻の景色です。

- 3月下旬 水芭蕉の森の開園式
- 4月上旬～中旬 白石城桜まつり
- 4月下旬～5月上旬 材木岩公園「鯉のぼりの吹き流し」

□角田市

「みやぎ蔵王三十六景」にも選ばれている阿武隈川右岸、3.2haほどの広さ一面に広がる菜の花畑は、地元青年会が菜の花の栽培を行い、約250万本もの菜の花が咲き誇る4月下旬に『かくだ菜の花まつり』を開催し、多くの地元住民や観光客が賑わいをみせています。

□蔵王町

冬季はえぼしスキー場として、全国各地より多くのスキーヤーが訪れる、みやぎ蔵王えぼしリゾートでは、4月から11月にかけてイベントを開催しています。

- 4～5月：すいせん祭り
- 6～7月：展望グリーンフェスタ～東北最大級のシロヤシオツツジ群生と山野草～
- 6～8月：えぼしロックガーデンの高山植物
- 4～11月：ロックガーデン

蔵王酪農センターチーズ工場の敷地内にあり、オールドローズやイングリッシュローズなど、約400種類のバラが咲き誇るバラ園を開園。見ごろは6月上旬～7月上旬ですが、種類によってはその他の季節にも咲いています。

□七ヶ宿町

七ヶ宿ダム自然休養公園は、七ヶ宿ダムによって出現した湖面の有効利用を図るため整備された28haの広大な公園で、自然環境を活かしつつダム湖ではボートやヨット等を楽しめるスポットです。園内には、桜をはじめ77種7,777本もの樹木が植えられています。そのうち、約3,500本が桜の木となっており、公園一面を桜が覆います。

- 4月：七ヶ宿湖さくら祭り

8月：七ヶ宿火まつり

10月：七ヶ宿湖一周ウォーキング

また、山形県との県界に位置する玉ノ木原水芭蕉群生地は、国道113号線沿いにあり、約3.5haの面積に約7万株の水芭蕉郡が見られます。水芭蕉は、山間の湿地帯に生える植物で、春になると20～30cmの白い花を咲かせることから、4月にオープニングセレモニーを開催しています。

□大河原町

大河原町西部の丘陵地にある「とんとんの丘」は、散策路や動物とふれあえる「わんぱくの森」などの里山広場や、産直施設、日帰り温泉の施設です。施設内には四季折々の草花が楽しめる散策路で春は梅・桜、夏はバラ・アヤメ、秋は紅葉が見頃となり、年間15万人を超える来場者でにぎわっています。

6月下旬 おおがわら梅まつり

地場産業の振興と新しい観光農業の創造を目的として、梅の生産・出荷を行っている「金ヶ瀬梅組合」を中心に、平成19年より「おおがわら梅まつり」を開催しています。堤梅団地での梅狩り体験や青梅の量り売り、梅加工品の販売などを行っています。

(梅の花の見頃は例年3月中旬～4月上旬にかけて、堤梅団地を中心に咲き誇ります。)

12月上旬～1月中旬 おおがわら桜イルミネーション

一目千本桜のまち・大河原をイメージしたイルミネーションは、白石川沿いの桜38本の木が桜色のLEDで淡く輝き、下から照らすスポットライトが「冬の夜桜」を彩ります。JR東北本線大河原駅から徒歩3分とアクセスが良く、冬でも桜を楽しめるイベントです。

□村田町

村田町の中心部の土蔵や豪勢な門構えの建物が残る古い町並み「みちのく宮城の小京都」と呼ばれ、県内初の重要伝統的建造物群保存地区にされています。

5月 蛇藤まつり

6月 そら豆まつり

8月 とうもろこし「味来」販売推奨月間

伊達宗高公まつり花火大会

9月 新米まつり

10月 蔵の町むらた布袋まつり

みやぎ村田町蔵の陶器市

3月 むらた町家の雛めぐり

伊達宗高公まつりが開催される「龍島院」は天授元年(1375年)に開山し、院内の庭園は宮城観光百選にも選ばれ、四季折々の素晴らしい庭の表情を見ることができます。

この他にも道の駅「村田」では、洋ラン展や工芸品の展示販売会などのイベントを毎月開催しています。また、国内に6ヶ所しかない国際公認レーシングコースを保有する総合モータースポーツ施設「スポーツランドSUGO」は、SUPER GTやスーパーフォーミュラなど人気シリーズを含め大小さまざまなレースが開催されています。手ぶらで手軽にレーサー気分が味わえるレンタルカート体験もあり、レースファンのみならず親子連れや若者も楽しめるサーキットです。

□柴田町

東日本大震災から創造的復興を目指すため「花のまち柴田」をテーマに船岡城址公園を中心とした、年間を通じたイベントを開催し、通年型のフラワーツーリズムを推進。

3 月：しばたスプリング・フラワー・フェスティバル

4 月：しばた桜まつり

6～7月：しばた紫陽花まつり

9 月：しばた曼珠沙華まつり

10 月：しばたオータムガーデンフェスタ

10～11月：みやぎ大菊花展柴田大会

12 月：しばたファンタジーイルミネーション

また、個人の庭を開放するオープンガーデンを実施し、毎年延べ3,000人程の愛好家が訪れています。町内で一斉に行うオープンガーデンは年1回開催ですが、里山を含む4か所は、常時開催しています。

□川崎町

東北地方唯一の国営公園である「みちのく杜の湖畔公園」では、年間を通して四季折々の花々が楽しめるイベントを開催しています。

4～5 月：花のフェスティバル

5～6 月：ポピーまつり

7～8 月：夏フェア

9～10 月：COKO フェスタ

10～12 月：夜間イベント

1月 月：新春ふるさとまつり

1～2 月：かまくらまつり

3月 月：クリスマスローズまつり

□丸森町

町内を流れる阿武隈川は東北第二の大河で、長い間重要な物資輸送路として利用されてきた歴史を持ち、その舟運を現在に伝える「阿武隈ライン舟下り」があります。丸森町の歴史を感じられる“猫神”のペイントを施した観光船で四季折々に移り変わる雄大な自然を堪能できます。

□亘理町

阿武隈川右岸敷地を利用して、逢隈地区まちづくり協議会が管理運営するおおくま花畑では、5月にはクリムソクローバー、9月にはひまわりが植栽され、敷地一面に咲き誇ります。

□山元町

山元町では平成30年度から、東日本大震災で被災した沿岸部で「やまもとひまわり祭り」を開催しています。農地整備事業で生み出された広大な農地の地力増進のためにヒマワリを作付け

したことがきっかけで始まり、今では夏の風物詩として定着しています。

広大な農地に咲き誇るヒマワリの本数は約200万本と県内最大規模で、開催期間中は自由に散策が楽しめるほか、無料で摘み取りも行えます。

時期：7月中旬～8月上旬 終日開放（予定）

場所：亘理郡山元町東部地区ほ場内

（2）今後の取組

協議会の目的でもある宮城県南地域に点在するみやぎ蔵王を背景とした花風景と、宮城県南地域にあるみやぎ蔵王の自然の恵みからなる地域資源と風土・神秘が感じられる、ツーリズムとなるよう、四季のガーデンルートの構築を図ります。

こうした協議会運営に必要な運営費・事業費等については、各自治体からの負担金のほか、自治総合センターコミュニティ助成金や市町村総合補助金（宮城県）を活用し事業展開を図っていく計画です。さらに、女性視点を取り入れるための女性ワーキンググループと多角的な視点からのツーリズム構築へ向け、宮城大学と協力・連携を図り、産学官三者による連携した取り組みを行います。

①モデルツアーコースの造成

宮城県市町村振興総合補助金を活用して、民間提案を十分に取り入れながら、春、夏、秋、冬の四季ルートのモデルツアーを実施します。そのため、モデルルート・ツアーを実施するため、プロポーサル方式による入札を行い、経営コンサルタント、旅行業者、交通事業者の共同体へ業務委託をし、女性ワーキングによる、女性視点での意見を取り入れ、宮城大学との協力連携を図りながら、ツアーコースの造成を図っていきます。



②花修景を軸とした地域振興へつなげる観光戦略

ツアーコースの造成については、ウィズコロナそしてアフターコロナを見据えた検討を行います。そのため、大規模な公園や庭園だけでなく、当該地域の特性を生かした中小規模な庭園・観光資源などをまわりながら、小イベントなどに参加・体験できる参加型ツアーといった、小規模でコンパクトなマイクロツーリズムも一緒に検討してまいります。

本地域における庭園拠点である、白石城、船岡城址公園、龍島院など伊達家の重鎮たちが伊達を守る軍事拠点・要害であったという、歴史的な背景などもあります。蔵王山麓の「遠刈田温泉」、「鎌先温泉」、「小原温泉」、「峩々温泉」等や、県南地域の中心部に位置する大河原町の「おのがわら天然温泉いい湯」や沿岸部の亘理町の「わたり温泉鳥の海」などの温泉地が点在しています。さらに、蔵王チーズ、白石温麺、はらこめし、ほっきめしなど山海の幸による蔵王山麓ならではのグルメも充実しています。

こうした、歴史・風土といった地域資源と花修景拠点を融合させることで歴史・健康・グルメといった五感で感じるアクティブなガーデンツーリズムが可能となります。



こうした、みやぎ蔵王の雄大な自然に育まれた景観や食・温泉等の恵みと歴史に彩られた地域という個々の魅力を花修景という軸として紡いでいくことで、地域の魅力を最大限に引き出し、地域の活性化につなげてまいります。

□その他主な事業内容

(1) 広域観光基盤の整備

- ①花巡りカレンダー・花マップの作成
- ②ガーデンロードの設定と磨き上げ
- ③共同イベントの開催（ガーデン市、植木市）

(2) 情報発信

- ①共通ポスター・チラシの作成配布
- ②インフルエンサーを活用した点検及び情報発信
- ③花の季節にあわせた各種メディアへの掲載等

- (3) プロモーション活動の展開
 - ①花巡りツアーの企画
 - ②ガーデンツーリズムシンポジウムの開催
 - ③県南エリアへの誘客キャンペーンの実施
- (4) コンテンツの充実
 - ①新たな体験プログラムの造成
 - ②季節ごとの素材写真、動画の作成

(3) 協議会の構成員

□構成委員

- 1 県南2市9町の自治体
- 2 民間庭園管理者
- 3 民間団体 (①観光物産協会等 ②施設管理者 ③タウン情報誌 ④交通会社 ⑤道の駅等)

□オブザーバー

- 1 国土交通省東北地方整備局東北国営公園事務所
- 2 宮城県大河原地方振興事務所

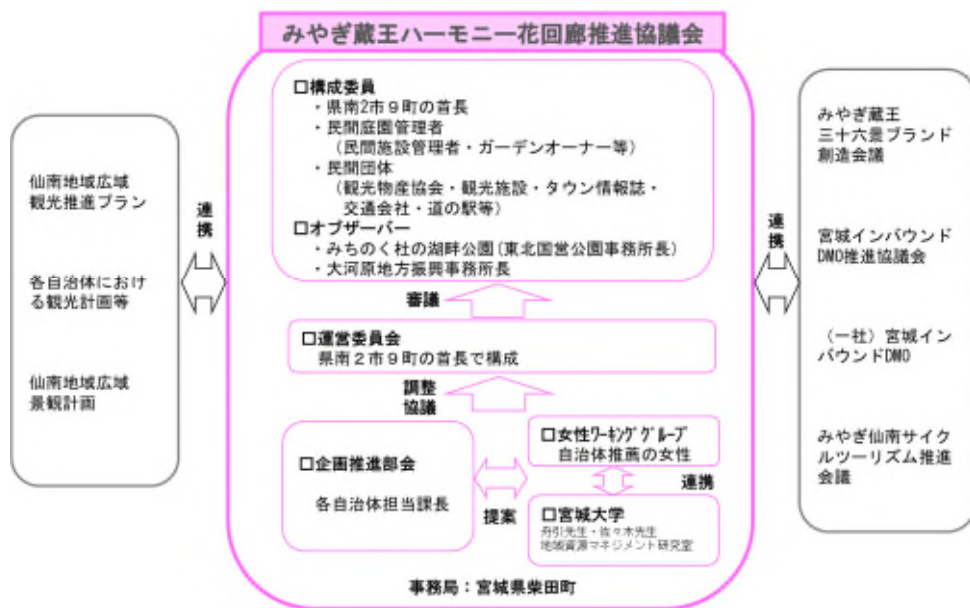
□連携団体

- 1 みやぎ蔵王三十六景ブランド創造会議
- 2 宮城インバウンド DMO 推進協議会
- 3 (一社) 宮城インバウンド DMO
- 4 みやぎ仙南サイクルツーリズム推進会議

□意見提案グループ

- 1 女性ワーキンググループ
- 2 宮城大学 (舟引教授・佐々木秀之准教授・地域資源マネジメント研究室)

【協議会体制概略図】



(4) 事業の実施体制

2市9町を核とし庭園管理者、観光関連事業者等で組織するみやぎ蔵王ハーモニー花回廊推進協議会を核とし、国土交通省東北地方整備局東北国営公園事務所や宮城県大河原振興事務所をオブザーバーに加えるとともに、宮城インバウンドDMOとも連携しながら、観光基盤の整備、情報発信コンテンツの磨き上げ、プロモーション活動、おもてなし作戦を展開します。

また、女性視点での魅力的なツーリズムとなるよう、女性のみで組織する女性ワーキンググループにおいて、ツアールート、ロゴマーク、ガイドブック等の計画提案を行います。さらに、宮城大学の舟引先生及び佐々木先生2名の指導助言を仰ぎながら、同大学の地域資源マネジメント研究室と協力・連携を図っていきます。

- (1) 総 会 年1回
- (2) 運営委員会 年1回 (各自治体の首長で構成)
- (3) 企画推進作業部会 随時開催 (各自治体課長及び構成メンバー)
- (4) 女性ワーキング 随時開催 (各自治体から推薦のあった女性)

(5) 具体的な事業

様式1-9のとおり

具体的な事業一覧表

事業名①	広域観光基盤の整備事業		
実施主体	みやぎ蔵王 ハーモニー花回廊推進協議会	事業期間	令和2 年度 ～ 令和5 年度
実施施設	推進協議会に属する庭園及び関係施設		
事業概要	<p>□ガーデンロードの調査・設定とガーデンツーリズムの普及・啓発</p> <p>県南地域に点在する花風景の開花時期イベント等の時期及びルート等を調査し、一体的に結ぶガーデンロードの調査設定を行い、関係観光施設（温泉、道の駅等）との連携も含め、一体化したロードの磨き上げを行います。さらに、本事業の取り組みを広く情報発信し、普及啓発に取り組みます。</p> <p>①通年開園している、「みちのく杜の湖畔公園」や「船岡城址公園」等を基点として、高低差が大きく温暖差による花々の開花時期が違う地域特性を活用し、同時期で多種多様な花園を巡れるようなハーモニー豊かなロード設定を行います。</p> <p>②東北初となる広域連携によるガーデンツーリズムの取り組みについて、各自治体及び協議会委員でもある民間情報関係者を通じて情報発信を行うとともに、普及啓発を図っていきます。</p> <p>□共通ロゴマークの設定</p> <p>8月22日に設立された、本協議会のシンボルマークとして、共通のロゴマークを作成することで、今後、連携した事業を展開していくコンテンツに組み入れ、協議会の取り組みの普及啓発につなげていきます。</p> <p>また、協議会のシンボルマークを作成することにより、県南地域が全国屈指の花巡りの聖地を目指し、協議会全体での連帯感とモチベーション向上をはかっていきます。</p> <p>ロゴマークは令和2年度に実施した女性ワーキングの中でデザインし決定。</p> <p>協議会のシンボルマークとして、「みやぎ蔵王」のシルエットを中心に、各構成市町の象徴となる花々のモチーフで囲み、東北らしいレトロ感を演出する書体で演出しました。みやぎ蔵王を背景とした、みやぎ県南地域に点在する花園を協議会が中心となり活動を展開していくことへの象徴的なマークとして決定しました。</p>		



□花巡カレンダー・花マップの作成

標高 1800mを超える蔵王連峰の山麓から、太平洋沿岸部までの短い区間で異なる花々の開花時期に合わせた花巡りのカレンダーや花マップを作成し、観光客等に配布することで、宮城県南エリアへの誘客を図っていきます。

□共同イベントの開催

開花時期に合わせ共同イベントを開催し、花巡りのカレンダーや花マップを配布しながらガーデンツーリズムの周知と宮城県南エリアへの誘客を図ります。

特に年間を通じてイベント等を開催しているみちのく杜の湖畔公園を基点とした、各庭園との共同イベントを開催することによる相乗効果により地域全体での魅力の向上を図ります。

早春のイベント



春のイベント



具体的な事業一覧表

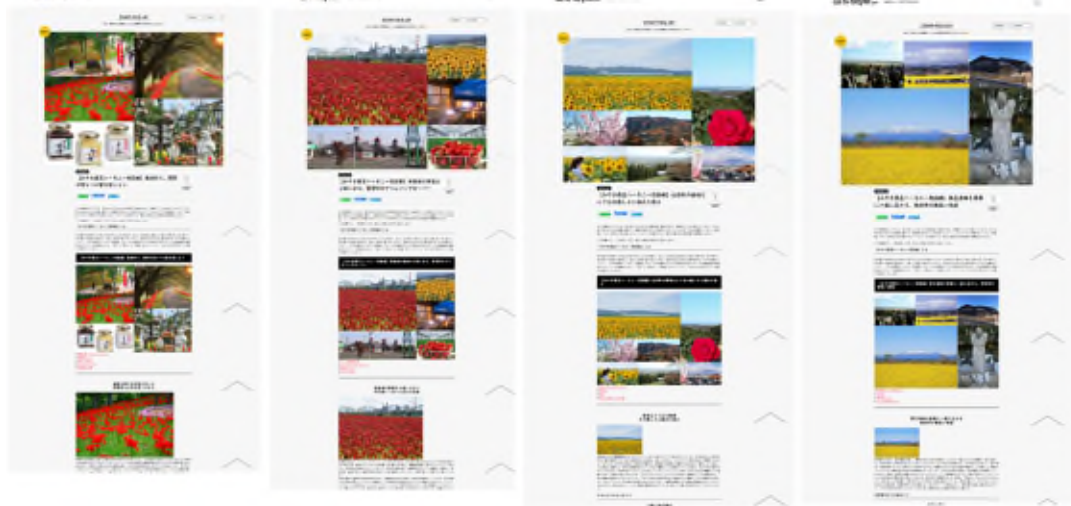
事業名②	情報発信事業		
実施主体	みやぎ蔵王ハーモニー 花回廊推進協議会	事業期間	令和2 年度 ~ 令和5 年度
実施施設	推進協議会に属する庭園及び関係施設		
事業概要	<p>□共通ポスター・チラシの作成</p> <p>協議会のロゴマークを組み入れた共通ポスターやチラシに使用し、掲載や配布を行うことで、ガーデンツーリズムの周知と誘客を図ります。 令和2年度には、女性ワーキングの中で各市町の花スポットと周遊スポットを紹介したガイドブックを作成。</p>  <p>□インフルエンサーを活用した情報発信</p> <p>インフルエンサーを招聘し、花回廊を巡ってもらい、InstagramやYouTube、ツイッター等のSNSでコメントを入れて投稿してもらいます。 令和2年度は、Instagramフォロワー数約83万人、仙台在住のインフルエンサー「bonpon511」様に、県南地域の花スポットの様子をInstagramにて紹介してもらいました。</p>  <p>60代の共白髪のご夫婦（夫=bon、妻=pon）で、bonさんの退職後、秋田市から仙台市に移り住み、二人暮らしのセカンドライフの中で、各地へ訪れた模様をアップしています。 おそろいのコーディネートは、全国誌での紹介やショップとのコラボなど、若者から同世代まで、幅広い層に人気。20代から30代の若者に人気の情報誌「せんだいタウン情報 S-style」や「Kappo」などの特集企画にも登場し、仙台圏、宮城で最も知名度の高いインスタグラマーです。</p>		

□ 4 花の季節に合わせた各種メディアへの掲載

テレビやラジオ、新聞等のマスコミを活用し、花巡りのコースを周知することで、宮城県南エリアへの誘客を図ります。

令和2年度は、仙台・宮城で46年間タウン情報誌を発行している株式会社プレスアートのWebメディア「日刊せんだいタウン情報 S-style Web」で情報を発信しました。

柴田町 令和3年2月1日更新 巨理町 令和3年2月8日更新 山元町 令和3年2月15日更新 角田市 令和3年2月22日更新



具体的な事業一覧表

事業名③	プロモーション活動の展開事業		
実施主体	みやぎ蔵王ハーモニー 花回廊推進協議会	事業期間	令和2 年度 ~ 令和5 年度
実施施設	推進協議会に属する庭園及び関係施設		
事業概要	<p>□花巡りツアーの企画 旅行会社やバス会社と連携し、開花時期に合わせた花巡りツアーを企画し、宮城県南エリアへの集客を図ります。</p> <div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%;">  <p>春ツアーコースイメージ（開催時期：4月頃）</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>夏ツアーコースイメージ（開催時期：7月頃）</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>秋ツアーコースイメージ（開催時期：10月頃）</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>冬ツアーコースイメージ（開催時期：2月頃）</p> </div> </div> <p>□ガーデンツーリズムシンポジウム 花の専門家やタレントによるシンポジウムを開催し、ガーデンツーリズムの普及啓発を図るとともに、県南地域のガーデニング文化のさらなる拡大を図ります。</p> <p>□県南エリアへの誘客キャンペーン 官民が一体となり宮城県内外の花のイベントに合わせて誘客キャンペーンを行い、ガーデンツーリズムの周知と宮城県南エリアへの集客を図ります。</p> <p>□女性ワーキンググループとの意見交換会を元に民間事業者がバスツアーを商品化 2市9町をめぐるバスツアーとして販売。第一弾として、春のツアーコースを2コース販売予定</p>		

【第一弾】山元・亶理・川崎編

実施概要：蔵王の春の恵みを5感で味わうツアー（春の草花とともにイチゴや温泉等の蔵王の恵みを満喫する蔵王の春ツアー）

- ・実施予定日：令和4年3月20日（日） 日帰りバスツアー
- ・季節限定商品として人気の「いちご狩り」と構成庭園の「みちのく杜の湖畔公園」を組み合わせ、周遊ルートの定着化と仙台圏・首都圏からの誘客を目指す。

日時	旅行日程	食事	宿泊先
1	<p>■各自にて仙台駅東口にご集合をお願いします(9:00)</p> <p>仙台駅東口出発(9:10) == 山元いちご農園にていちご狩り10:00-11:00 == わたり温泉鳥の海にて日帰り温泉と昼食11:15-13:00 == みちのく杜の湖畔公園14:00-16:00 == 秋保ヴィレッジにてお買い物16:15-17:00 == 仙台駅東口(17:40到着予定)</p> <p style="text-align: right;">★到着後、解散</p>	昼	日帰り



いちご狩り

温泉と食事

みちのく杜の湖畔公園



【第二弾】蔵王・柴田編

- ・実施予定日：令和4年4月9日（土）及び4月10日（日） 日帰りバスツアー
- ・同じく季節限定の「雪の壁ウォーク」と構成庭園の「船岡城址公園」を組み合わせ、「雪」と「桜」を同日に見ることが出来る貴重な体験を提供。みやぎ蔵王エリアならではの魅力的な内容を商品化し、多方面からの誘客を目指す。

日時	旅行日程	食事	宿泊先
1	<p>■各自にて仙台駅東口にご集合をお願いします(8:20)</p> <p>仙台駅東口出発(8:30) == 雪の壁ウォーク10:00-11:10 == みやぎ蔵王こけし館11:40-12:20 == 蔵王酪農センターにて昼食と買い物12:30-13:40 == 船岡城址公園14:20-15:50 == 仙台駅東口(16:50到着予定)</p> <p style="text-align: right;">★到着後、解散</p>	昼	日帰り



蔵王雪壁ウォーク

蔵王酪農センターバラ園

船岡城址公園



第三弾以降も夏の「村田・大河原編」、秋の「蔵王・七ヶ宿編」など、各地域の季節の花と観光スポットを組み合わせ商品を設定予定。

具体的な事業一覧表

事業名④	コンテンツの充実		
実施主体	みやぎ蔵王 ハーモニー花回廊推進協議会	事業期間	令和2 年度 ~ 令和5 年度
実施施設	推進協議会に属する庭園及び関係施設		
事業概要	<p>□新たな体験プログラムの造成 ガーデニング教室や寄せ植え教室、フラワーアレンジメント教室等、花に関する体験教室を開催し、ガーデニング文化の普及を図ります。</p>  <p>□季節ごとの素材写真動画作成 開花時期に合わせ、写真や動画を作成し、写真集やプロモーションビデオを制作します。</p> <p>県南地域における構成ガーデンの写真集のイメージ</p> 		

具体的な事業一覧表

事業名⑤	宮城インバウンドDMOとの連携		
実施主体	宮城インバウンドDMO推進協議会	事業期間	令和元 年度 ～ 令和5 年度
実施施設	推進協議会に属する庭園及び関係施設		
事業概要	<p>□訪日観光客受入について 宮城インバウンドDMO推進協議会も5年目を迎え、県南地域のインバウンドに対する取り組みの成果が表れてきています。宮城インバウンドDMO推進協議会と連携を図りながらマーケティングマネジメント、そしてプロモーションという手法で訪日観光客の誘客推進を図っていきます。</p> <p>①プロモーション強化事業 台湾、タイ及び中国を中心に渡航し、旅行会社に営業を展開していきます。</p> <p>DMOによる取り組み事例（香港でのラッピングバス）</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <div style="margin-top: 10px;">  <p style="margin-left: 20px;">←みやぎ蔵王の景観をアピールしたラッピングバスを運行。</p> </div> <p>②受入環境整備事業 タクシー配車アプリを導入し、キャッシュレスで移動できるようソフト環境整備を進めます。</p> <p>③滞在コンテンツ充実強化事業 県南地域のキラーコンテンツとしてみやぎ蔵王山麓に点在する桜並木、コミュニティガーデン、民間庭園や公園等を洗い出し、広域周遊ルートの設定を図るとともに、ツアー造成を行っていきます。</p>		

具体的な事業一覧表

事業名⑤	宮城大学との連携		
実施主体	宮城大学事業構想学群 地域資源マネジメント研究室	事業期間	令和3 年度 ~
実施施設	推進協議会に属する庭園及び関係施設		
事業概要	<p>□地域実践型連携教育と連携したガーデンツーリズムの構築 宮城大学では、地域の歴史・文化・資源・を活かしたコミュニティづくりや、地域の人々と共に問題解決ができる人材（コミュニティプランナー）の育成を目指したプログラムを展開しており「ナラティブ（地域からの物語）」を意識した、県南地域におけるガーデンツーリズムの取り組みをフィールドとして、協議会と大学が連携して、ツーリズムの構築に取り組んでいきます。 なお、令和3年度は、沿岸部の地域でトライアルを実施しています。</p> <p>①フィールドワーク フィールドを通じて県南地域の自然・歴史・文化等を学びながら、魅力や課題を分析していきます。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>②実習及び実践 フィールドワークでの魅力や課題に対する気づきから、地域活性化策を実行するための企画・提案を行います。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>③フィールドワーク演習 実際のフィールドにおいて、県南地域の多種多様なステークホルダーとの協働手法や、情報発信手法などを協議会と連携して実践してきます。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>ナラティブ要素を 取り入れたマップ</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>SNS を活用した情報発信</p> </div> </div>		